# 平成14、15年度小児慢性特定疾患治療研究事業の全国登録状況

主任研究者:加藤 忠明、 国立成育医療センター研究所成育政策科学研究部長

分担研究者:柳澤 正義、 国立成育医療センター総長

別所 文雄、 杏林大学医学部小児科教授

内山 聖、 新潟大学医学部小児科教授

森川 昭廣、 群馬大学医学部小児科教授

石澤 瞭、 国立成育医療センター第一専門診療部長

藤枝 憲二、伊藤 善也、旭川医科大学小児科教授、助教授

武井 修治、 鹿児島大学医学部保健学科教授

杉原 茂孝、 東京女子医科大学小児科教授

伊藤 道徳、 香川小児病院統括診療部長

上條 岳彦、 信州大学医学部小児科講師

飯沼 一宇、 東北大学医学部小児科教授

原田 正平、 国立成育医療センター研究所成育医療政策科学研究室長

斉藤 進、 日本子ども家庭総合研究所主任研究員

掛江 直子、 国立成育医療センター研究所成育保健政策科学研究室長

研究協力者:伊藤 龍子、 国立成育医療センター研究所流動研究員

研究要旨:平成14、15年度小児慢性特定疾患治療研究事業に関して、厚生労働省に、平成16年8月中旬までに電子データによる事業報告があった医療意見書の内容を集計・解析した。14年度は全国89カ所の実施主体のうち86カ所から、また、15年度は全国95カ所のうち44カ所から事業報告があった。14年度に日本全国で1,000人以上登録された疾患は、都道府県単独事業も含めて多い順に、成長ホルモン分泌不全性低身長症11,804人、白血病6,684人、甲状腺機能低下症5,979人、気管支喘息\*5,608人、1型糖尿病3,708人、脳(脊髄)腫瘍3,633人、ネフローゼ症候群\*3,127人、甲状腺機能亢進症3,105人、神経芽腫2,816人、川崎病\*2,461人(冠動脈瘤・拡張症・狭窄症を含めると3,924人)、心室中隔欠損症\*2,345人、血管性紫斑病2,259人、思春期早発症2,145人、若年性関節リウマチ2,081人、胆道閉鎖症2,019人、慢性糸球体腎炎\*1,974人、悪性リンパ腫1,374人、血友病A1,256人、慢性甲状腺炎1,102人、ターナー症候群1,093人、水腎症\*1,053人、2型糖尿病1,042人、網膜芽細胞腫1,042人であった(\*を記した疾患は、1か月以上の入院が対象であるため、登録人数は実人数より少ない)。14年度に報告された非同意者の割合は、25カ所の平均が1.1%、8カ所の平均が11.3%、33カ所全体として平均3.2%であった。

見出し語:小児慢性特定疾患、小児難病、医療意見書、全国の登録管理、コンピュータ集計解析

### A. 研究目的

小児慢性特定疾患治療研究事業(以下、小慢事業)は、平成10年度以降、医療意見書<sup>1)</sup>を申請書に添付させ、診断基準を明確にして小児慢性特定疾患(以下、小慢疾患)対象者を選定する方式に、全国的に統一され、その後16年10月に法制化された。小慢事業の全国的な登録状況に関して、昨年度まで、主として10~13年度の

集計・解析を行った<sup>2</sup>。今年度は、主として14、15年度の全般的な登録状況をまとめた。

小慢疾患の登録・管理を行うコンピュータソフト「小児慢性特定疾患の登録・管理システム Ver3.0」(以下、新ソフト)は、主として以下の4点の内容を追加して、平成15年6月に厚生労働省から全国の実施主体に配布された。

その内容は、①同意・非同意の入力フィール

ドの設定、②Prader-Willi症候群の成長ホルモン治療、③IgA腎症の腎生検実施に関する入力画面上の確認、④マススクリーニング疾患のマススクリーニング実施の有無に関する入力画面上の確認、である³¹。

それらによる登録状況を解析しながら、小慢 疾患の疫学的解析を行い、国や地方自治体、そ して小慢疾患を診療、研究する医療関係者、ま た患児家族に、その情報を提供すること、そし て、法制化後のソフト作成の資料とすることを 目的とした。

# B. 研究方法

小慢事業に関して、実施主体である都道府県 ・指定都市・中核市から厚生労働省に、平成16 年8月中旬までにコンピュータソフト(電子デ ータ)による事業報告があった医療意見書の内 容を集計・解析した。

解析の際は以下の3点に配慮した。①治療研究事業として研究の資料にすることへの同意を 患児(保護者)から得た。②集計内容には、自動計算された患児の発病年月齢や診断時(意見書記載時)の年月齢は含まれているが、プライバシー保護のため、患児の氏名や生年月日、よた意見書記載年月日等は自動的に削除されている電子データを使用・解析した。③外部への資料の流出や外部からの改ざんを防止し、またコンピュータウィルスに感染しないように、インターネット等に接続していない専用のコンピュータで解析した。

10年度、11年度、12年度小慢事業の資料は、 すべての実施主体からの事業報告であり、全国 延べ各々106,790人分、115,893人分、120,652 人分であった<sup>2)</sup>。

13年度は、全国87カ所(13年度は横須賀市が 追加)の実施主体のうち86カ所(千葉市を除く 実施主体)から事業報告があった。新規・継続 合わせて、延べ 116,685人(成長ホルモン治療 用意見書提出例10,232人は重複して算出)分で あった。

14年度は、全国89カ所(14年度は奈良市、倉敷市が追加)の実施主体のうち86カ所(愛媛県、京都市、長野市を除く実施主体)から事業報告があった。新規・継続合わせて、延べ112,021人(成長ホルモン治療用意見書提出例 9,829人は重複して算出)分であった。

15年度は、全国95カ所(15年度はさいたま市、 川越市、船橋市、相模原市、岡崎市、高槻市が 追加)の実施主体のうち44カ所(北海道、青森 県、岩手県、山形県、茨城県、群馬県、千葉県、 神奈川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、 静岡県、三重県、京都府、兵庫県、奈良県、島 根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、愛媛 県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、 沖縄県、札幌市、仙台市、川崎市、京都市、大 阪市、神戸市、北九州市、福岡市、郡山市、富 山市、姫路市、岡山市、熊本市、宮崎市、鹿児 島市、長野市、豊橋市、横須賀市、奈良市、相 模原市、静岡市、高槻市を除く実施主体)から 事業報告があった。新規・継続合わせて、延べ 69,093人(成長ホルモン治療用意見書提出例 5,417人は重複して算出)分であった。

上記の合計は、延べ 641,134人分であった。 このうち、13~15年度の各疾患群ごとの全般的 な登録状況、及び14年度の各疾患の頻度を明ら かにした。

# C. 結果と考察

平成13、14年度の電子データは、厚生労働省 や各実施主体の担当者の努力のおかげで、ほぼ 全実施主体から報告が集まった。

1,疾患群別登録人数と疾患名不明人数、及び 同意・非同意人数

平成13~15年度の疾患群別登録人数と、疾患名(ICD10)が不明な人数、及び14、15年度の同意・非同意の人数を表0に示す。

①疾患名不明の人数の減少 13年度に比べて 14年度、15年度は、コンピュータミスによる I C D 10不明者が著明に減少した。小慢事業の対象疾患のみ入力可能にしたソフトを12年度に作成したが<sup>4)</sup>、これがほぼ全国的に使用されるようになった結果である。小慢事業では、研究班で検討した内容が研究班に還元、解析されるまで、3~4年を要すると考えられる。

②非同意者 新ソフトは、疾患群ごとの非同 意者数、及び医療意見書を記載した医療機関名 と診療科名を中央に報告する仕様になっている。

新ソフトを使用した実施主体は、14年度の電子データが33/86カ所、15年度は29/95カ所であった。表0によれば、非同意者の割合は、全体的には前者991/30,537=3.2%、後者4,191/39,530=10.6%であった。

表 0、平成13、14、15年度の疾患群別登録人数、疾患名 (ICD10)不明人数、 及び、平成14、15年度の同意・非同意人数と割合

|          | 平成 1         | 3年度                | 平成14年度         |                      |                        |                      |                         |
|----------|--------------|--------------------|----------------|----------------------|------------------------|----------------------|-------------------------|
| 疾患群      | 疾患群別<br>登録人数 | I C D 10が<br>不明な人数 | 疾患群別 登録人数      | ICD<br>不明な           |                        | 意の有無<br><b>主2)</b> : | ₹(注1)<br>無(注2)          |
| 悪性新生物    | 20,046人      | 250人               | 19,587人        | 4人                   | 4, 802 (9              | 045)人:               | 145(129)人               |
| 慢性腎疾患    | 10, 294      | 114                | 9, 518         | 1                    | 2, 366 (2              | 272) :               | 78 (32)                 |
| ぜんそく     | 9, 902       | 10                 | 5, 639         | 0                    | 733 (                  | 57) :                | 21 (14)                 |
| 慢性心疾患    | 8, 617       | 23                 | 11,979         | 0                    | 4, 157 (5              | 570) : 2             | 204 (65)                |
| 内分泌疾患    | 31,640       | 455                | 30, 215        | 0                    | 8, 161 (1              | ,749) : 2            |                         |
| 膠原病      | 3, 189       | 3                  | 3, 141         | 1                    | 571 (1                 | 17) :                | 13 (13)                 |
| 糖尿病      | 5, 346       | 55                 | 5, 246         | 0                    | 1, 350 (2              | 265) :               | 39 (32)                 |
| 先天性代謝異常  | 7, 293       | 110                | 7, 310         | 37                   | 1, 845 (3              | 353) :               | 49 (38)                 |
| 血友病等血液疾患 | 9, 148       | 100                | 8, 514         | 0                    | 2, 025 (3              |                      | 44 (40)                 |
| 神経・筋疾患   | 978          | 2                  | 1,043          | 0                    | 295 (                  | 61) :                | 15 (12)                 |
| 成長ホルモン治療 | 10,232人      | 3人                 | 9,829人         | 2人                   | 3, 241 (8              |                      | 104(98)人                |
| 延べ合計     | 116,685人     | 1,125人             | 112,021人       |                      | 29, 546(5,<br>引意率(注 2) |                      | 991 (717) 人<br>(11. 3%) |
|          |              | 平成                 | 15年度(根         | 既算数)                 |                        |                      |                         |
|          | 疾患群別         | I C D10が           | ——————<br>意同   | <del></del><br>の有無(: | <del></del><br>注3)     |                      |                         |
| 疾患群      | 登録人数         |                    |                |                      | 無(注4)                  | 非同意                  | (24)                    |
| 悪性新生物    | 9,875人       | 0人                 | 5, 066 (2, 63  | 6)人: :               | 394 (386) 人            | 7. 2%                | (12.8%)                 |
| 慢性腎疾患    | 7, 700       | 0                  | 3, 184 (2, 27  | (4) : !              | 546 (546)              | 14.6                 | (19.4)                  |
| ぜんそく     | 4, 203       | 0                  | 717( 5         | (0)                  | 17(6)                  | 2.3                  | (10.7)                  |
| 慢性心疾患    | 12, 037      | 0                  | 6, 795 (6, 13  | 34) :1,              | 424 (1, 420)           | 17.3                 | (18.8)                  |
| 内分泌疾患    | 15, 293      | 0                  | 7,770(3,71     | 4) : (               | 629 (610)              | 7.5                  | (14.1)                  |
| 膠原病      | 3, 699       | 0                  | 3,048(2,75     | 57) : (              | 514(511)               | 14.4                 | (15.6)                  |
| 糖尿病      | 2, 420       | 1                  | 1,212(53       | 4) :                 | 120(117)               | 9.0                  | (18.0)                  |
| 先天性代謝異常  | 3, 681       | 0                  | 1,913(96       | 9) : [               | 142 (139)              | 6. 9                 | (12.5)                  |
| 血友病等血液疾患 | 4, 115       | 1                  | 2,102(96       | 6) :                 | 96(91)                 | 4.4                  | (8.6)                   |
| 神経・筋疾患   | 787          | 0                  | 357 ( 29       | 5) :                 | 84 (84)                | 19.0                 | (22.2)                  |
| 成長ホルモン治療 | 5,417人       | 2人                 | 3, 175 (1, 65  | 0)人: 2               | 225 (220) 人            | 6.6%                 | (11.8%)                 |
| 延べ合計     | 69, 093人     | 4人                 | 35, 339 (21, 9 | 79) :4,              | 191 (4, 130)           | 10.6%                | (15. 8%)                |

注1) 同意・非同意の人数は、青森県、茨城県、神奈川県、富山県、岐阜県、和歌山県、鳥取県、 島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、高知県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、 仙台市、川崎市、広島市、北九州市、富山市、金沢市、静岡市、浜松市、姫路市、福山市、長崎市、 熊本市、宮崎市、奈良市、倉敷市、計33カ所の実施主体の人数

注2)括弧内の数値は、岐阜県、宮崎県、川崎市、富山市、浜松市、姫路市、福山市、倉敷市、 計8カ所の実施主体の人数

注3) 同意・非同意の人数は、宮城県、秋田県、福島県、栃木県、東京都、富山県、和歌山県、 鳥取県、香川県、高知県、福岡県、鹿児島県、千葉市、広島市、秋田市、金沢市、浜松市、豊田市、 和歌山市、福山市、高知市、長崎市、大分市、旭川市、松山市、倉敷市、川越市、船橋市、岡崎市、 計29カ所の実施主体の人数

注4)括弧内の数値は、秋田県、栃木県、東京都、福岡県、秋田市、浜松市、福山市、倉敷市、 計8カ所の実施主体の人数

14年度の非同意者は、岐阜県、宮崎県、川崎市、富山市、浜松市、姫路市、福山市、倉敷市の実施主体に比較的多く、これらを合計した割合は、717/6,345=11.3%であった。その他、25カ所の実施主体の非同意者は、各疾患群とも多くは0~1人であり、その割合は274/24,192=1.1%であった。

15年度の非同意者は、秋田県、栃木県、東京都、福岡県、秋田市、浜松市、福山市、倉敷市に比較的多く、これらを集計すると、4,130/26,109=15.8%であった。登録人数の多い東京都の非同意率が比較的高いため、全体としての非同意率を高めた。その他、21カ所の実施主体の非同意者の割合は、61/13,421=0.5%であった。後者の実施主体では、申請書と同意書が同一の書類であったり、同意を前提にした小慢事業への申請であった可能性が考えられる。

非同意者の割合は、年度によって報告した実施主体が異なるため、単純な比較はできないが、昨年度の報告では全体として2.6%であったので、増加傾向がみられる。疾患群別の非同意者数の把握は、患児数のより正確な推計を可能にするだけでなく、現場の状況を知る手がかりになると考えられる。

#### 2, 平成14年度の疾患別登録人数

平成14年度10疾患群ごとの医療意見書と成長ホルモン治療用意見書に関する集計解析結果を、表1~表11に示す。都道府県単独事業(以下、県単)での登録者数も含めた結果である。

これらの結果は、情報公開の原則に基づき、 個人情報保護に配慮した上、国立成育医療セン ター研究所や日本子ども家庭総合研究所のホー ムページ等に公開する予定である。

### 1) 悪性新生物

平成14年度の「悪性新生物」に関する集計結果を表1に示す。登録人数は19,587人であり、11年度の18,169人、12年度の19,253人、13年度の20,046人とほぼ同様であった<sup>51</sup>。各疾患ごとの登録人数も大きな差はみられなかった。

登録人数が多い順に、白血病34.1%、脳(脊髄)腫瘍18.5%、神経芽腫14.4%、悪性リンパ腫7.0%、網膜芽細胞腫5.3%であり、これらの5疾患で悪性新生物の79.4%を占めていた。

# 表1、悪性新生物(H14年度症例)

Malignant Neoplasms

(合計19,587人)、(新規診断2,747人、 継続15,794人、転入94人、無記入952人) (男子10,747人、女子8,664人、無記入176人) (国の小慢事業19,579人、県単独事業8人)

北海道598人、青森県287人、岩手県254人、 宮城県281人、秋田県164人、山形県247人、 福島県282人、茨城県344人、栃木県218人、 群馬県280人、埼玉県990人、千葉県662人、 東京都1376人、神奈川県141人、新潟県387人、 富山県125人、石川県152人、福井県136人、 山梨県150人、長野県351人、岐阜県226人、 静岡県186人、愛知県680人、三重県376人、 滋賀県234人、京都府98人、大阪府901人、 兵庫県581人、奈良県207人、和歌山県97人、 鳥取県96人、島根県95人、岡山県132人、 広島県424人、山口県188人、徳島県118人、 香川県97人、爱媛県、高知県77人、 福岡県506人、佐賀県194人、長崎県221人、 熊本県193人、大分県99人、宮崎県135人、 鹿児島県302人、沖縄県231人、 札幌市409人、仙台市216人、千葉市138人、

| 横浜市765人、川崎市             | 180人、名古        | 屋市2   | 45人、 | (以下、再掲)       | C49.9等       | 596    | 3. 0  |
|-------------------------|----------------|-------|------|---------------|--------------|--------|-------|
| 京都市、大阪市356人             | 3人、神戸市284人、    |       |      | 横紋筋肉腫         | C49. 9A      | 419    | 2. 1  |
| 広島市238人、北九州             | 市149人、福        | 福岡市2  | 88人、 | 細網(細胞)肉腫      | C49. 9B      | 19     | 0. 1  |
| 秋田市87人、郡山市5             | 8人、宇都宮         | (市55  | ι.   | 脂肪肉腫          | C49. 9C      | 9      | 0.0   |
| 新潟市118人、富山市             | 45人、金沢         | 市53人  | `    | 悪性血管内皮腫       | C49. 9D      | 8      | 0.0   |
| 岐阜市52人、静岡市6             | 8人、浜松市         | ī92人、 |      | 悪性線維性組織球      | t腫 C49.9E    | 4      | 0.0   |
| 豊田市55人、堺市151            | 人、姫路市          | 85人、  |      | 滑膜肉腫          | C49. 9F      | 39     | 0. 2  |
| 和歌山市58人、岡山市             | <b>〒145人、福</b> | 山市95  | 人、   | 線維肉腫          | C49. 9G      | 64     | 0.3   |
| 高知市62人、長崎市6             | 8人、熊本市         | 7118人 | •    | 平滑筋肉腫         | C49. 9H      | 18     | 0. 1  |
| 大分市72人、宮崎市5             | 5人、鹿児島         | 計118  | 人、   | 腺筋肉腫          | C49. 9I      | 1      | 0.0   |
| いわき市40人、 <del>長野f</del> | f、豊橋市4         | 2人、   |      | 悪性間葉腫         | C49. 9J      | 7      | 0.0   |
| 高松市57人、旭川市5             | 5人、横須賀         | 貫市61/ | ٨,   | 卵巣の悪性腫瘍       | C56 C等       | 174    | 0. 9  |
| 松山市92人、奈良市5             | 8人、倉敷市         | 785人  |      | (以下、再掲)       |              |        |       |
| 計86都道府県市の集語             | 計結果            |       |      | 未分化胚細胞腫       | C56 A        | 63     | 0.3   |
|                         |                |       |      | 男女性胚細胞腫       | C56 B        | 2      | 0.0   |
| 疾患名                     | ICD10 人        | 数(人)  | %    | 絨毛上皮腫         | C58          | 5      | 0.0   |
| 舌癌                      | C02. 9         | 4     | 0.0  | 陰茎(嚢)悪性腫瘍     | C60. 9       | 1      | 0.0   |
| 上咽頭悪性腫瘍                 | C11.9          | 26    | 0. 1 | 前立腺悪性腫瘍       | C61          | 1      | 0.0   |
| 食道癌                     | C15. 9         | 1     | 0.0  | 睾丸の悪性腫瘍       | C62.9C等      | 85     | 0.4   |
| 胃肉腫                     | C16. 9         | 7     | 0. 0 | (以下、再掲)       |              |        |       |
| 結腸癌                     | C18. 9         | 10    | 0. 1 | 未分化胚細胞腫       | C62. 9A      | 25     | 0. 1  |
| 直腸癌                     | C20            | 3     | 0.0  | 男女性胚細胞腫       | C62. 9B      | 3      | 0.0   |
| 肝臓の悪性腫瘍                 | C22.9等(D       | 37.6の | 1名含) | 腎臓の悪性腫瘍       | C64 D等       | 620    | 3. 2  |
| (以下、再掲)                 |                | 411   | 2. 1 | Wilms腫瘍(再掲)   | C64 A        | 565    | 2. 9  |
| 肝細胞癌                    | C22. 0         | 8     | 0.0  | 腎細胞癌(再掲)      | C64 B        | 29     | 0. 1  |
| 肝内胆管癌                   | C22. 1         | 1     | 0.0  | 腎腺癌(再掲)       | C64 C        | 1      | 0.0   |
| 肝芽(細胞)腫                 | C22. 2         | 376   | 1. 9 | 膀胱肉腫          | C67.9        | 4      | 0. 0  |
| 肝肉腫                     | C22. 4         | 12    | 0. 1 | 網膜芽細胞腫        | C69. 2A (C69 | 9. 2の1 | 8名含)  |
| 胆管癌                     | C24. 0         | 1     | 0.0  |               |              | 1042   | 5. 3  |
| 膵臓の悪性腫瘍                 | C25.9等         | 14    | 0. 1 | 甲状腺癌          | C73          | 127    | 0.6   |
| 膵島細胞癌(再掲)               | C25. 4         | 3     | 0.0  | Grawitz腫瘍     | C74          | 1      | 0. 0  |
| 肺癌                      | C34. 9         | 6     | 0.0  | 悪性褐色細胞腫       | C74. 1       | 4      | 0.0   |
| 悪性胸腺腫                   | C37            | 4     | 0.0  | 神経芽細胞腫        | C74.9        | 2816   | 14. 4 |
| 縦隔悪性腫瘍                  | C38. 3         | 17    | 0. 1 | (マススクリーニンク゛で多 | 善見:1236人     |        |       |
| 悪性骨腫瘍                   | C41.9F等        | 656   | 3. 3 | その他で発見:       | 667人、この      | 内スクリ   | ーニンク゛ |
| (以下、再掲)                 |                |       |      | 受検有:          | 380人、受核      | 無:2    | 205人、 |
| 骨肉腫                     | C41.9A         | 466   | 2. 4 | 不明:913人)      |              |        |       |
| Ewing腫瘍                 | C41. 9B        | 142   | 0. 7 | 卵黄嚢癌          | C76.3A       | 109    | 0.6   |
| 軟骨肉腫                    | C41.9C         | 19    | 0. 1 | 仙尾部悪性奇形腫      | C76. 3B      | 24     | 0. 1  |
| 悪性骨巨細胞腫                 | C41.9D         | 2     | 0.0  | 骨盤内悪性腫瘍       | C76. 3C      | 8      | 0. 0  |
| 脊索腫                     | C41. 9E        | 7     | 0. 0 | 悪性リンパ腫        | C85.9B等      | 1374   | 7. 0  |
| 悪性黒色腫                   | C43. 9         | 25    | 0. 1 | (以下、再掲)       |              |        |       |
| 基底細胞癌                   | C44. 9B        | 1     | 0.0  | 非ホジキンリンパ      | ペ腫 C85.9A    | 107    | 0. 5  |
| 悪性神経鞘腫                  | C47. 9         | 16    | 0. 1 | ホジキン病         | C81. 9       | 133    | 0.7   |
| 癌性腹膜炎                   | C48            | 2     | 0.0  | 組織球型細網肉腫      | £ C83.3B     | 3      | 0.0   |
| 結合組織・軟部組織の              | の悪性腫瘍          |       |      | バーキットリン/      | ペ腫 C83.7     | 29     | 0. 1  |
|                         |                |       |      |               |              |        |       |

| _ (             |                     |           |                           |         |     |      |
|-----------------|---------------------|-----------|---------------------------|---------|-----|------|
| T細胞リンパ腫         |                     | 5 0.0     | 小脳星細胞腫                    | C71.6   | 27  | 0. 1 |
| リンパ肉腫           |                     | 7 0.0     | 神経膠腫                      | C71.9A  | 170 | 0. 9 |
| 多発性骨髄腫          | C90. 0              |           | 神経膠芽細胞腫                   | C71. 9B | 17  | 0. 1 |
| 形質細胞腫           |                     | 2 0.0     | 多形膠芽腫                     | C71.9C  | 1   | 0.0  |
| 白血病(以下、再揭)      | •                   |           | 神経星細胞腫                    | C71.9D  | 96  | 0. 5 |
| (C95.9の5名、該当    |                     | • • • • • | 髄上皮腫                      | C71. 9E | 5   | 0.0  |
| 急性リンパ性白血        |                     |           | 神経上皮腫                     | C71.9F  | 8   | 0.0  |
|                 | 2551人,L2:532人       | ς,        | 髄芽(細胞)腫                   | C71.9G  | 194 | 1.0  |
| L3:45人,無記       | • •                 |           | 視神経膠腫                     | C72. 3  | 61  | 0.3  |
| 慢性リンパ性白血        | •                   | 3 0.0     | 下垂体膠腫                     | C75. 1  | 2   | 0.0  |
| 白血病性細網内皮        |                     | 3 0.6     | 髄膜腫                       | D32. 9A | 18  | 0. 1 |
| 急性骨髄性白血療        |                     |           | トルコ鞍部髄膜腫                  | D32. 9B | 3   | 0.0  |
|                 | 23人,M1:106人, M      |           | 脈絡叢乳頭腫                    | D33. 0  | 21  | 0. 1 |
| M3:58人,M4:9     | 97人,M5:94人,I        | M6:11人,   | 小脳血管芽(細胞                  | )腫D33.1 | 2   | 0.0  |
| M7:94人,無記       |                     |           | 下垂体腺腫                     | D35. 2  | 14  | 0. 1 |
| 慢性骨髄性白血療        |                     | 3 1.0     | 奇形腫                       | D36.9   | 87  | 0.4  |
| 急性前骨髄球性白        |                     |           | テント上腫瘍                    | D43.0   | 24  | 0. 1 |
|                 | 25人,無記入他::          | 23人)      | テント下腫瘍                    | D43. 1  | 1   | 0.0  |
| 急性骨髄単球性白        |                     |           | 橋腫瘍                       | D43.1A  | 3   | 0.0  |
|                 | 15人,無記入他:           |           | 小脳腫瘍                      | D43. 1B | 135 | 0. 7 |
| 骨髄性白血病          | C92. 9 29           |           | 第4脳室腫瘍                    | D43.1C  | 8   | 0.0  |
|                 | 1人,M2: 2人,!         |           | 脳幹部腫瘍                     | D43.1E  | 48  | 0. 2 |
|                 | 人,M7:3人, 無 <b>訂</b> | 2入:18人)   | 視床腫瘍                      | D43. 2A | 5   | 0.0  |
| 急性単球性白血症        |                     |           | 視交叉部腫瘍                    | D43. 2B | 1   | 0.0  |
|                 | 30人,無記入他::          | 29人)      | 視床下部腫瘍                    | D43. 2C | 22  | 0. 1 |
| 赤白血病            |                     | 0.0       | 硬膜外腫瘍                     | D43. 2D | 1   | 0.0  |
| 急性非リンパ性白        | * *                 |           | 聴神経腫瘍                     | D43.3   | 3   | 0.0  |
|                 | 1人, M1: 2人, 1       | · ·       | 脊髄腫瘍                      | D43. 4  | 160 | 0.8  |
|                 | 2人, M5: 2人, 1       | M6: 1人,   | 頭蓋咽頭腫                     | D44. 4  | 239 | 1. 2 |
| M7: 4人, 無記      |                     |           | 松果体腫                      | D44.5   | 169 | 0. 9 |
| 急性巨核芽球性白        | • •                 |           | 頭蓋内腫瘍                     | D48.9   | 34  | 0. 2 |
|                 | 17人,無記入:9人          |           | クモ膜嚢腫                     | D32. 0  | 62  | 0. 3 |
| 急性白血病           |                     | 7 1.6     | クモ膜嚢胞                     | G93. 0  | 77  | 0. 4 |
|                 | 90人,L2:15人,I        |           | 神経鞘腫                      | D36. 1A | 30  | 0. 2 |
|                 | 6人, M2:16人, 1       |           | 神経節細胞腫                    | D36. 1B | 16  | 0. 1 |
|                 | 、M7:18人,無記          |           | 転移性肺腫瘍                    | C78. 0  | 3   | 0.0  |
| 先天性白血病          |                     | 4 0.0     | 悪性カルチノイド                  |         | 2   | 0. 0 |
| 骨髄異形成症候群(       |                     |           | 組織型不明の悪性肌                 | 重傷C80 C | 408 | 2. 1 |
|                 | D46. 9 30           |           | (C80の52名含)                |         |     |      |
| 家族性赤血球貪食性       |                     |           | 組織型不明の芽腫                  |         | 90  | 0. 5 |
| 悪性組織球症          | C96. 1 123          |           | 組織型不明の癌                   |         | 111 | 0.6  |
| リンパ 網内系(悪性)脂    | I場C96.9             | 1 0.0     | 組織型不明の肉腫                  | C80 F   | 85  | 0. 4 |
| 脳(脊髄)腫瘍         | D.40 000 Mm =       |           | LEI LOL JA valo J1 ven Ja |         |     |      |
| (以下、再掲)         | •                   |           | 慢性糸球体腎炎                   |         | 1   | 0. 0 |
| (C71.9の10名、D43. |                     |           | (本来は慢性腎腫                  |         | _   |      |
| 脳室上衣腫           | C71. 5 6            | 4 0.3     | 睾丸腫瘍                      | D40. 1  | 3   | 0.0  |

異所性副腎皮質腫瘍D44.1 1 0.0 (本来は内分泌疾患に分類) 悪性貧血 D51.0 1 0.0 (本来は血友病等血液疾患に分類) 不明(コンピュータ入力ミス等) 4 0.0

#### 2) 慢性腎疾患

平成14年度の「慢性腎疾患」に関する集計結果を表2に示す。登録人数は9,518人であり、10年度の9,796人、11年度の10,243人、12年度の10,265人、13年度の10,294人とほぼ同様であった<sup>5)</sup>。

登録人数順に、ネフローゼ症候群32.9%、慢性糸球体腎炎20.7%、水腎症11.1%、慢性間質性腎炎10.0%、紫斑病性腎炎8.3%、IgA腎症5.8%であった。13年度と比較して、各疾患ごとの登録人数に大きな差はみられなかった。

IgA腎症は、腎生検に基づく疾患名であり、 腎生検未実施は本来ありえない。そこで、新ソフトでは、その新規申請症例を入力しようとした場合、「IgA腎症であり、かつ腎生検未実施 関に問い合わせてください」の警告が表示腎 関に問い合わせてください」の警告が表示腎れる仕様にした³'。しかし、登録されたIgA腎症 551例中44例(8.0%)、新規申請147例では18 例(12.2%)が未実施と登録された。他の病理診断名も同様であった。11年度のIgA腎症腎生 検未実施率 8.8%とほぼ同様であり³<sup>3</sup>、警告表示の効果は乏しかった。腎生検を他の医療機関が実施した場合、腎生検を記載するケースが存在するためと考えられる。

### 表 2、慢性腎疾患(H14年度症例)

Chronic Renal Diseases (合計9,518人)、(新規診断2,373人、 継続6,934人、転入43人、無記入168人) (男子5,392人、女子4,051人、無記入75人) (国の小慢事業8,051人、県単独事業1,467人)

北海道187人、青森県60人、岩手県36人、 宮城県34人、秋田県39人、山形県25人、 福島県41人、茨城県91人、栃木県20人、 群馬県93人、埼玉県1599人、千葉県85人、 東京都308人、神奈川県6人、新潟県161人、 富山県70人、石川県282人、福井県27人、 山梨県21人、長野県45人、岐阜県20人、 静岡県9人、愛知県1218人、三重県102人、 滋賀県275人、京都府52人、大阪府454人、 兵庫県80人、奈良県64人、和歌山県27人、 鳥取県15人、島根県17人、岡山県23人、 広島県1017人、山口県57人、徳島県10人、 香川県18人、愛媛県、高知県88人、 福岡県50人、佐賀県31人、長崎県40人、 熊本県31人、大分県33人、宮崎県38人、 鹿児島県43人、沖縄県64人、 札幌市93人、仙台市30人、千葉市46人、 横浜市9人、川崎市11人、名古屋市547人、 京都市、大阪市66人、神戸市27人、 広島市24人、北九州市16人、福岡市41人、 秋田市24人、郡山市9人、宇都宮市63人、 新潟市26人、富山市15人、金沢市164人、 岐阜市5人、静岡市0人、浜松市11人、 豊田市82人、堺市504人、姫路市10人、 和歌山市4人、岡山市27人、福山市143人、 高知市73人、長崎市17人、熊本市17人、 大分市14人、宮崎市15人、鹿児島市10人、 いわき市9人、長野市、豊橋市92人、 高松市7人、旭川市6人、横須賀市1人、 松山市12人、奈良市118人、倉敷市24人 計86都道府県市の集計結果

| 疾患名            | ICD10   | 人数(人)          | %     |
|----------------|---------|----------------|-------|
| Goodpasture症候群 | M31.0   | 2              | 0.0   |
| 急速進行性糸球体腎炎     | N01. 9  | 9              | 0.1   |
| 慢性腎炎症候群(以下、    | 再掲)     | 2070           | 21.7  |
| 慢性糸球体腎炎        | N03.9   | 1974           | 20.7  |
| 慢性増殖性糸球体腎      | 炎N03.8  | 43             | 0.5   |
| 遷延性糸球体腎炎       | N05.8   | 53             | 0.6   |
| ネフローゼ症候群       | N04等    | 3127           | 32. 9 |
| (以下、再掲)        |         |                |       |
| 微小変化型          | N04.0   | 179            | 1.9   |
| 先天性            | NO4. 9E | 12             | 0. 1  |
| 遺伝性腎炎          | N07.9等  | 56             | 0.6   |
| Alport症候群(再掲)  | Q87.8E  | 3 13           | 0.1   |
| 二次性腎炎          |         | 1373           | 14.4  |
| IgA腎症(再掲)      | NO2. 8A | 551            | 5.8   |
| (腎生検実施:456)    | 人、未実施   | <b>包:44人、</b>  |       |
|                | 不見      | 明:51人)         |       |
| IgM腎症(再掲)      | NO2.8E  | 3 14           | 0.1   |
| (腎生検実施: 12)    | 人、未実施   | <b>を</b> : 2人) |       |
| 紫斑病性腎炎(再掲)     | D69. 0E | 789            | 8.3   |
| メサンギウム増殖性腎     | 炎       |                |       |

|                             | V05 0        |        |      |
|-----------------------------|--------------|--------|------|
| - M-2- 2 UL /元 担 /          | N05. 3       | 6      | 0.1  |
| びまん性(再掲)                    | NO5. 3A      |        | 0.0  |
| 巣状(再掲)                      | N05. 3B      | 2      | 0.0  |
| <b>巣状分節性糸球体硬</b> (          |              |        |      |
| 114 115 James J. 11, 160 J. | NO5. 1A      | 40     | 0.4  |
| <b>巣状糸球体腎炎</b>              |              | 2      | 0.0  |
| 膜性增殖性糸球体腎炎                  |              | 35     | 0.4  |
| 膜性腎症                        | N05. 2       | 49     | 0. 5 |
| 先天性腎奇形(以下、                  |              | 427    | 4.5  |
| 多発性嚢胞腎                      | Q61. 3       | 70     | 0.7  |
| 腎嚢胞                         | Q61. 0       | 48     | 0.5  |
| 異形成腎                        | Q61. 4       | 18     | 0.2  |
| 腎低形成                        | Q60. 5A      | 132    | 1.4  |
| 腎無形成                        | Q60. 2       | 14     | 0. 1 |
| 家族性若年性ネフロンス                 | ろうN25.8D     | 6      | 0.1  |
| 腎杯または腎盂の熱                   | 憩室Q63.8      | 1      | 0.0  |
| 尿路の奇形等                      | Q62.8        | 87     | 0.9  |
| 腎の奇形等                       | Q63. 9       | 34     | 0.4  |
| 慢性間質性腎炎                     | N11.9        | 954    | 10.0 |
| 間質性腎炎                       | N12          | 1      | 0.0  |
| 腎周囲膿瘍                       | N15. 1       | 3      | 0.0  |
| 閉塞性腎症(以下、再                  | 揭)           | 1113   | 11.7 |
| 水腎症                         | N13.3        | 1053   | 11.1 |
| 水尿管症                        | N13. 4       | 18     | 0.2  |
| 巨大水尿管症                      | Q62. 2       | 25     | 0.3  |
| 尿路閉塞性腎機能降                   | 障害N11.1      | 15     | 0. 2 |
| 腎尿路結石症                      | N20.9等       | 26     | 0.3  |
| 腎結石(再掲)                     | N20. 0       | 14     | 0.1  |
| 腎血管障害(以下、再                  | F揭)          | 12     | 0. 1 |
| 腎動脈血栓(塞栓)                   | N28. 0       | 2      | 0.0  |
| 腎動脈狭窄                       | I70. 1       | 10     | 0.1  |
| 慢性腎不全                       | N18. 9       | 171    | 1.8  |
| (成長ホルモン治)                   | <b>寮用意見書</b> |        |      |
| 初回申請:13人、                   | 、継続申請        | : 18人) |      |
| 萎縮腎                         | N26          | 30     | 0.3  |
| 腎性くる病                       | N25. 0       | 1      | 0.0  |
| 高尿酸血性腎症                     | E79. 0       | 1      | 0.0  |
|                             |              |        |      |
| 腎性尿崩症                       | N25. 1       | 1      | 0.0  |
| (本来は内分泌疾)                   | 患に分類)        |        |      |
| 腎尿細管性アシドーシス                 |              | 1      | 0.0  |
| (本来は先天性代)                   | 射異常に分類       | 類)     |      |
| 膀胱尿管逆流性腎障                   |              | 7      | 0.1  |
| (本来は小慢対象                    | •            | -      |      |
| 不明(コンピュータ入力ミスシ              |              | 1      | 0.0  |
|                             | •            |        |      |
|                             |              |        |      |

### 3) ぜんそく

平成14年度の「ぜんそく」に関する集計結果を表3に示す。登録人数は、県単の増加に伴って、10年度8,396人、11年度8,924人、12年度11,934人と増加したが<sup>5)</sup>、その後13年度9,902人、14年度5,639人と減少に転じていた。

1か月以上の入院を前提とする国基準での登録人数も、10年度7,130人、11年度6,943人、12年度7,959人以降は、13年度5,438人、14年度4,597人と減少していた。アレルギー疾患患児は増加しているが、気管支喘息は、新しいガイドラインの普及等により、1か月以上の入院を必要とする症例は減少傾向にあることを示している。

# 表3、ぜんそく(H14年度症例)

Asthma

(合計5,639人)、(新規診断1,813人、 継続3,549人、転入8人、無記入269人) (男子3,405人、女子2,210人、無記入24人) (国の小慢事業4,597人、県単独事業1,042人)

北海道13人、青森県9人、岩手県17人、 宮城県22人、秋田県15人、山形県11人、 福島県30人、茨城県23人、栃木県1人、 群馬県137人、埼玉県805人、千葉県12人、 東京都9人、神奈川県15人、新潟県135人、 富山県49人、石川県1283人、福井県3人、 山梨県1人、長野県10人、岐阜県12人、 静岡県2人、愛知県163人、三重県24人、 滋賀県65人、京都府152人、大阪府624人、 兵庫県16人、奈良県4人、和歌山県2人、 鳥取県1人、島根県2人、岡山県4人、 広島県7人、山口県14人、徳島県0人、 香川県4人、爱媛県、高知県0人、 福岡県19人、佐賀県21人、長崎県6人、 熊本県23人、大分県4人、宮崎県22人、 鹿児島県17人、沖縄県41人、 札幌市8人、仙台市6人、千葉市45人、 横浜市6人、川崎市1人、名古屋市113人、 京都市、大阪市19人、神戸市4人、 広島市0人、北九州市6人、福岡市19人、 秋田市1人、郡山市13人、宇都宮市903人、 新潟市28人、富山市4人、金沢市449人、 岐阜市3人、静岡市0人、浜松市8人、 豊田市30人、堺市36人、姫路市1人、

和歌山市0人、岡山市4人、福山市1人、 高知市2人、長崎市6人、熊本市10人、 大分市4人、宮崎市13人、鹿児島市9人、 いわき市1人、長野市、豊橋市7人、 高松市3人、旭川市2人、横須賀市10人、 松山市5人、奈良市2人、倉敷市8人 計86都道府県市の集計結果

| 疾患名         | ICD10  | 人数(人) | %     |
|-------------|--------|-------|-------|
| 気管支喘息       | J45. 0 | 38    | 0. 7  |
| 気管支喘息       | J45. 1 | 2     | 0.0   |
| 気管支喘息       | J45.9  | 5568  | 98. 7 |
| 気管支拡張症      | J47    | 31    | 0. 5  |
| 不明(コンピュータ入ナ | 1ミス等)  | 0     | 0.0   |

# 4) 慢性心疾患

平成14年度の「慢性心疾患」に関する集計結果を表4に示す。登録人数は、10年度15,333人、11年度11,717人、12年度12,096人<sup>5)</sup>、13年度8,617人、14年度11,979人であり、年度による変動が比較的大きかった。

14年度の各疾患の登録人数は、川崎病と冠動脈瘤と冠動脈拡張・狭窄症24.8%、心室中隔欠損症19.6%、心房中隔欠損症7.3%、Fallot四徴症5.8%、肺動脈狭窄症4.3%、動脈管開存症3.1%の順であり、従来とほぼ同様であった。

# 表 4、慢性心疾患(H14年度症例)

Chronic Heart Diseases

(合計11,979人)、(新規診断4,015人、 継続7,666人、転入13人、無記入285人) (男子6,411人、女子5,507人、無記入61人) (国の小慢事業9,766人、県単独事業2,213人)

北海道227人、青森県145人、岩手県37人、宮城県10人、秋田県35人、山形県12人、福島県74人、茨城県152人、栃木県42人、群馬県127人、埼玉県1169人、千葉県86人、東京都693人、神奈川県10人、新潟県148人、富山県43人、石川県652人、福井県27人、山梨県24人、長野県37人、岐阜県10人、静岡県4人、愛知県53人、三重県36人、滋賀県1167人、京都府77人、大阪府1070人、兵庫県79人、奈良県163人、和歌山県13人、鳥取県13人、島根県12人、岡山県10人、広島県2217人、山口県44人、徳島県6人、

香川県8人、愛媛県、高知県2人、 福岡県19人、佐賀県11人、長崎県7人、 熊本県3人、大分県6人、宮崎県12人、 鹿児島県49人、沖縄県87人、 札幌市0人、仙台市13人、千葉市33人、 横浜市16人、川崎市27人、名古屋市20人、 京都市、大阪市66人、神戸市13人、 広島市83人、北九州市12人、福岡市3人、 秋田市3人、郡山市20人、宇都宮市222人、 新潟市30人、富山市15人、金沢市316人、 岐阜市1人、静岡市0人、浜松市7人、 豊田市10人、堺市1072人、姫路市11人、 和歌山市2人、岡山市39人、福山市461人、 高知市0人、長崎市0人、熊本市3人、 大分市10人、宮崎市12人、鹿児島市19人、 いわき市16人、長野市、豊橋市3人、 高松市7人、旭川市20人、横須賀市5人、 松山市5人、奈良市429人、倉敷市27人 計86都道府県市の集計結果

| 疾患名        | ICD10          | 人数(人) | %    |
|------------|----------------|-------|------|
| 心筋症        |                |       |      |
| 心筋症(以下、再掲) | I42.9等         | 146   | 1. 2 |
| 特発性拡張型心筋症  | <b>註 I42.0</b> | 7     | 0.1  |
| (特定疾患対象)   |                |       |      |
| (特発性)肥大型閉塞 | 塞性心筋:          | 定     |      |
|            | I42. 1         | 1     | 0.0  |
| (特発性)肥大型心能 | 防症 I 42. 2     | 2 79  | 0.7  |
| 心内膜心筋線維症   | I42. 3         | 1     | 0.0  |
| 心内膜線維弾性症   | I42. 4         | 8     | 0. 1 |
| 特発性拘束型心筋症  | <b>註 142.5</b> | 5     | 0.0  |
| 拡張相肥大型心筋症  | 定 142.9        | 7 1   | 0.0  |
|            |                |       |      |
| 調律異常       |                |       |      |
| 房室ブロック     | I44.3等         | 94    | 0.8  |
| (以下、再掲)    |                |       |      |
| 第Ⅰ度房室ブロック  | I44. 0         | 3     | 0.0  |
| 第Ⅱ度房室ブロック  | I44. 1         | 3     | 0.0  |
| 完全房室ブロック   | I44. 2         | 46    | 0.4  |
| 高度房室ブロック   | I44. 2         | A 1   | 0.0  |
| 脚ブロック      | I45.4等         | 10    | 0.1  |
| 右脚ブロック(再掲  | ) I45. 1       | 6     | 0.0  |
| 洞房ブロック     | I45.5          | 1     | 0.0  |
| 早期興奮症候群    | I45.6          | 136   | 1.1  |
| WPW症候群(再掲  | b) 145.6       | A 113 | 0. 9 |
| 完全心ブロック(以下 | 、再掲)           | 84    | 0. 7 |
|            |                |       |      |

| マア延及住候群 145.9B 83 0.7 対断が振遠飛常 225.4E 5 0.0<br>又下延及住候群 149.1 6 0.1  | المعارض المراجع المرا | 7.45 05          | _    |       | l oct noc oto                           |            | _      |      |
|--|---|------------------|------|-------|---|------------|--------|------|
| 明外収縮等 (以下、再掲) 202 1.7 部分的肺静脈環流 異常症 26.8 1.0 0  | ロマノ・ワルト・症候群   | I45. 9B          | 1    | 0.0   | 大動脈瘤                                    | Q25. 4E    | 5      | 0.0  |
| ・  |   |                  |      |       |   | -          | 7      | 0. 1 |
| ・  |   |                  |      |       | 部分的肺静脈 遠流異                              |            |        |      |
| 上室性期外収縮 149.4 31 0.3 総肺静脈逕流異常症 Q26.2 115 1.0 1 上室性無難 147.1年 107 0.9 三尖弁閉鎖症 Q22.4 117 0.0 (以下、再掲) 発作性上室性頻拍 147.1A 72 0.6 ボブルグ・高形 Q22.5 58 0.5 非発作性上室性頻拍 147.1B 4 0.0 右心室低形成症 Q22.6 9 0.1 多療性心房性頻拍 147.1B 4 0.0 右心室低形成症 Q22.6 9 0.1 多療性心房性頻拍 147.2年 61 0.5 三尖弁関端症 Q22.9 2 0.0 (以下、再掲) 発作性心室性頻拍 147.2年 61 0.5 三尖弁関端で Q22.9 2 0.0 (以下、再掲) 発作性心室性頻拍 147.2年 1 0.0 肺動脈弁閉鎖症 Q22.9 2 0.0 原并発作性心室性頻拍 147.2年 1 0.0 肺動脈弁閉鎖症 Q22.6 (Q2.6 年) 1.2 固有心室性期律 147.2 1 0.0 肺動脈弁閉鎖症 Q22.6 (Q2.5 515 145 1.2 固有心室性調律 147.9 1 0.0 肺動脈弁脾鏡症 Q25.5 145 1.2 財神、明水境拍 147.9 1 0.0 肺動脈弁狭窄症 Q25.6年 511 4.3 所動脈弁性負拍 147.9 1 0.0 肺動脈弁狭窄症 Q25.6年 511 4.3 所動脈弁性検症 Q21.2 2 4 0.0 内膜症候群 147.9 1 0.0 肺動脈弁狭窄症 Q25.5 145 1.2 所動脈弁性検症 Q25.5 145 1.2 所動脈弁疾染症 Q25.5 145 1.2 原金解離 145.8 3 0.0 肺動脈弁疾染症 Q21.3 3 0.0 肝動脈形弁疾染症 Q22.3 4 0.0 内膜床欠損症 Q21.1 871 7.3 能動脈弁疾染症 Q21.9 1 0.0 有物の人損症 Q21.2年 265 2.2 僧帽弁膜鏡症 Q21.9 1 0.0 在胸床欠損症 Q21.2 8 3 0.0 存量性所有 Q21.2 8 3 0.7 僧帽弁膜鏡症 Q23.0 22 0.2 位帽弁夹脊症 [105.0 24 0.2 40 0 |   |                  |      |       | 17. m)/.                                | -          |        |      |
| 上室性無解 149.8 5 0.0 三心房の Q24.2 11 0.1 上室性類拍 147.1等 107 0.9 三尖弁閉鎖症 Q22.4 117 1.0 不発性性上室性類拍 147.1A 72 0.6 ジスチ状や奇形 Q22.6 9 0.1 多颜性心房性類拍 147.1B 4 0.0 石心室低形成症 Q22.6 9 0.1 多颜性心房性類拍 147.2 4 0.0 三尖弁閉鎖症 Q22.9 2 0 0.4 形動脈弁閉鎖症 Q22.9 4 0 0.3 発作性心室性類拍 147.2A 4 0.0 肺動脈飛升閉鎖症 Q22.0 40 0.3 発作性心室性類拍 147.2B 1 0.0 肺動脈飛升閉鎖症 Q22.0 40 0.3 并発作性心室性類拍 147.2B 1 0.0 肺動脈飛升閉鎖症 Q25.5 145 1.2 固有心室性調神 147.2B 1 0.0 肺動脈飛升閉鎖症 Q25.6等 511 4.3 144 (以下、再揭) 条件性质拍 147.9A 29 0.2 肺動脈升腺療症 Q25.6等 511 4.3 144 (以下、再揭) 条件性類拍 147.9 43 0.4 (以下、再揭) 系列性性質拍 147.9 5 12 0.1 肺動脈弁下狭窄症 Q24.3 3 0.0 非発作性類拍 147.9 5 2 0.0 肺動脈升下狭窄症 Q24.3 3 0.0 非発作性類拍 147.9 5 12 0.1 肺動脈形弁下狭窄症 Q24.3 3 0.0 非発性性質拍 147.8 3 0.4 (以下、再揭) 所動脈形弁下狭窄症 Q21.3 689 5.8 房室解離 145.8 3 0.0 Fallot四微症 Q21.9 1 0.0 在室中隔欠损症 Q21.2 2 66 2.2 個骨升閉鎖症 Q21.0 23 0.2 (以下、再揭) 不完全型心内膜床欠損 Q21.2 8 0.1 管帽弁附劈症 Q23.0 2 22 0.2 (以下、再揭) 不完全型心内膜床欠損Q21.2A 8 0.1 僧帽弁狭窄症 105.0 1 1 0.0 完全型心内膜床欠損Q21.2A 8 0.1 僧帽弁狭窄症 105.0 1 1 0.0 全型心内膜床欠損 Q21.2 8 20 0.2 僧帽弁狭窄症 105.0 1 1 0.0 管骨升阴鳞症 Q23.0 2 20 0.2 1 0.5 分助脈并致痛症 Q21.0 23 0.2 位骨弁膀膜症 Q23.0 2 0.2 位骨升阴鳞症 Q23.0 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0   |   |                  |      |       |   |            | _      |      |
| 上室性頻拍  |   |                  |      |       |   |            |        |      |
| (以下、再掲)  |   |                  |      |       | - · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |            |        |      |
| 発作性上室性頻拍 147.1A 72 0.6 17 次が冷形形 Q22.5 58 0.5 非発作性上室性頻拍 147.1B 4 0.0 右心室低形成症 Q22.6 9 0.1 多源性心房性頻拍 147.2 1 0.0 七字弁異常 Q22.9 40 0.3 発作性心室性頻拍 147.2 1 0.0 肺動脈弁閉鎖症 Q22.0 40 0.3 発作性心室性頻拍 147.2 B 1 0.0 肺動脈弁閉鎖症 Q22.2 4 0.0 非発作性心室性頻拍 147.2 B 1 0.0 肺動脈弁閉鎖症 Q25.5 145 1.2 固有心室性調神 147.9 B 1 0.0 肺動脈弁神密症 Q25.6 6 511 4.3 計細研明な頻拍 147.9 B 2 0.2 肺動脈弁神容症 Q25.6 6 511 4.3 并発作性が重性調拍 147.9 B 2 0.0 肺動脈弁神密症 Q26.6 511 4.3 以下、再揭) 整件性頻拍 147.9 B 2 0.0 肺動脈升神溶症 Q22.3 4 0.0 分解射 148 11 0.1 肺動脈形形成不全 Q25.7 11 0.1 洞不全症候群 149.5 12 0.1 肺動脈形成不全症 Q21.3 689 5.8 房室解離 145.8 3 0.0 序和161-三微症 Q21.0 5 6 8 5.8 房室解離 145.8 3 0.0 序和161-三微症 Q21.0 5 6 8 5.8 反射解射 148 11 0.1 肺動脈形成不全 Q25.7 11 0.1 洞不全症候群 Q21.2 8 3 0.0 肾和的心 Q24.0 26 0.2 位内膜床欠損 Q21.2 8 3 0.0 肾和的心 Q24.0 26 0.2 位内膜床欠損 Q21.2 8 3 0.7 僧帽弁狭神症 Q21.0 5 0.0 在二腔症 Q21.0 6 0.0 全型心内膜床欠損 Q21.2 8 3 0.7 僧帽弁狭神症 Q20.0 23 0.2 位用原介膜症 Q21.0 23 0.2 位用解升致神症 Q20.0 20 1.7 位前升上狭窄症 105.0 4 1 0.0 全型心内膜床欠損 Q21.2 8 3 0.7 僧帽弁腱療症 Q23.0 202 1.7 世心室 Q20.4 165 1.4 動脈骨神疾卒症 Q23.0 202 1.7 世心室 Q21.4 4 0.0 大動脈升神疾卒症 Q23.0 202 1.7 大動脈肺動脈中隔欠損症 Q21.4 4 0.0 大動脈升肿疾卒症 Q23.0 202 1.7 大動脈肺動脈中隔欠損症 Q21.4 4 0.0 大動脈升肿疾卒症 Q23.0 202 1.7 大動脈所針疾卒症 Q23.0 202 1.7 大動脈脈排動脈足始症(24.5 8 1.4 5 0.0 大動脈升肿疾症 Q23.1 1 1 0.0 无超動脈肺動脈起始症(24.5 8 1 0.0 大動脈升肿疾症 Q23.1 1 1 0.0 无超動脈肺動脈起始症(24.5 8 1 0.0 大動脈升肿疾症 Q23.1 1 1 0.0 无超動脈肺動脈起始症(24.5 8 1 0.0 大動脈升肿疾症 Q23.4 5 0.0 元動脈脈動脈腱 Q24.5 8 1 0.0 大動脈升肿神健症 Q23.4 5 0.0 元動脈脈腫脈動脈起始症(24.5 8 1 0.0 大動脈升肿神健症 Q23.4 5 0.0 元动動脈腎腫動脈起始症(24.5 8 1 0.0 大動脈升肿神健症 Q23.4 5 0.0 元動脈脈神動脈起始症(24.5 8 1 0.0 大動脈升肿神健症 Q23.4 5 0.0 元動脈脈動脈腱 Q24.5 8 1 0.0 大動脈升肿神健症 Q23.4 5 0.0 元動脈脈動脈腱 Q24.5 8 1 0.0 大動脈升肿神健症 Q23.4 5 0.0 元動脈脈動脈腱 Q24.5 8 1 0.0 大動脈升肿神症 Q25.1 157 1.3 1 0.0 大動脈系肿腫症 Q25.1 4 3 0.0 大動脈系肿神症 Q25.1 157 1.3 1 0.0 大動脈飛神症 Q25.1 157 1.3 1 0.0 大動脈飛神健症 Q25.1 157 1.3 1 0.0 大動脈脈動脈腫 Q24.5 8 1 0.0 大動脈升肿神症 Q25.1 157 1.3 1 0.0 大動脈腫腫 Q24.5 8 1 0.0 大動脈升肿神経症 Q25.1 4 0.0 1 1 1 0.0 1 1 1 1 0.0 1 1 1 1 0.0 1 1 1 1   |   | I47.1等           | 107  | 0. 9  |   | -          | 117    |      |
| 非発作性上室性頻拍 147.1B 4 0.0 右心室低形成症 Q22.6 9 0.1 多源性心房性頻拍 147.1C 1 0.0 三尖弁胃鎖不全 107.1 49 0.4 心室性頻拍 147.2等 61 0.5 三尖弁異常 Q22.9 2 0.0 所動脈弁腎傾症 Q22.9 2 0.0 排動脈件性心室性頻拍 147.2A 4 0.0 肺動脈弁閉鎖症 Q22.2 4 0.0 非発作性心室性頻拍 147.2B 1 0.0 肺動脈弁閉鎖症 Q25.6等 511 4.3 詳細不明な頻拍 147.9常 43 0.4 (以下、再揭)  |   |                  |      |       |   |            | 1      |      |
| 多源性心房性頻拍         147.1C         1         0.0         三尖弁関鎖不全         107.1         49         0.4           心室性頻拍         147.2等         61         0.5         三尖弁異常         Q22.9         2         0.0           災下、再掲)         定件性の室性頻拍         147.28         4         0.0         肺動脈弁開鎖症         Q25.5         145         1.2           固有心室性調律         147.98         43         0.4         脚動脈弁関鎖症         Q25.6等         511         4.3           発作性極拍         147.98         43         0.4         脚動脈弁察症症         Q25.6等         511         4.3           発作性頻拍         147.98         29         0.2         肺動脈形決狭窄症         Q24.3         3         0.0           発作性頻拍         147.98         29         0.2         肺動脈形決狭窄症         Q24.3         3         0.0           原生性極期         147.98         2         0.0         肺動脈形形状不全         Q22.3         4         0.0           原生性性類拍         147.98         2         0.0         地動脈形形状不全症         Q22.3         4         0.0           原生性性類拍         149.5         12         0.1         肺動脈形形水水平         22.7         11         0.1   |   | • •              | 72   |       |   |            | 58     | 0. 5 |
| ○室性頻拍 I47. 2等 61 0. 5 三尖弁異常 Q22. 9 2 0. 0 (以下、再掲)  |   |                  | 4    |       |   | Q22. 6     | 9      | 0. 1 |
| (以下、再掲)  |   | • •              | 1    | 0.0   | 三尖弁閉鎖不全                                 | I07. 1     | 49     | 0.4  |
| 発作性心室性頬拍 147.2A 4 0.0 肺動脈弁閉鎖不全症 22.2 4 0.0 非発作性心室性頬拍 147.2B 1 0.0 肺動脈閉鎖症 25.5 145 1.2 固有心室性調律 147.2C 1 0.0 肺動脈形狭窄症 25.6等 511 4.3 詳細不明な頬拍 147.9等 43 0.4 (以下、再掲) (以下、再掲)   |   | I47. 2等          | 61   | 0. 5  | 三尖弁異常                                   | Q22. 9     | 2      | 0.0  |
| 非発作性心室性類拍 147.28 1 0.0 肺動脈閉鎖症 Q25.5 145 1.2 固有心室性調律 147.26 1 0.0 肺動脈狭窄症 Q25.6等 511 4.3 詳細不明な類拍 147.9等 43 0.4 (以下、再掲)   |   |                  |      |       | 肺動脈弁閉鎖症                                 | Q22. 0     | 40     | 0.3  |
| 固有心室性調律       147.2C       1       0.0       肺動脈狭窄症       Q25.6等       511       4.3         詳細不明な頻拍       147.9等       43       0.4       (以下、再揭)       肺動脈弁狭窄症       137.0       315       2.6         発作性頻拍       147.9A       29       0.2       肺動脈弁半狭窄症       Q24.3       3       0.0       0.0         近房細動       148       11       0.1       肺動脈弁下狭窄症       Q24.3       3       0.0         万室解離       145.8       12       0.1       肺動脈形成不全       Q25.7       11       0.1         房室解離       145.8       3       0.0       Fallot四徴症       Q21.3       689       5.8         房室解離       145.8       3       0.0       Fallot三徴症       Q21.3       689       5.8         房室解離       145.8       3       0.0        Fallot三微症       Q21.0       26       0.2         先手性疾症       145.8       3       0.0       Fallot三微症       Q21.0       26       0.2         房室解離       145.8       3       0.0       Fallot三微症       Q21.0       22       0.0         大事院大損症       Q21.1       871       7.3       総動脈形算療理症       Q20.0       0.2       0.2  | 発作性心室性頻振  | 拍 I47.2A         | 4    | 0.0   | 肺動脈弁閉鎖不全症                               | Q22. 2     | 4      | 0.0  |
| 詳細不明な頻柏 147.9等 43 0.4 (以下、再掲) (以下、再掲) (以下、再掲)  | 非発作性心室性與  | <b>熲拍 I47.2B</b> | 1    | 0.0   | 肺動脈閉鎖症                                  | Q25. 5     | 145    | 1. 2 |
| 解助脈弁狭窄症 137.0 315 2.6<br>発作性頻拍 147.9A 29 0.2 肺動脈弁下狭窄症 Q24.3 3 0.0<br>非発作性頻拍 147.9B 2 0.0 肺動脈弁異形成 Q22.3 4 0.0<br>心房細動 148 11 0.1 肺動脈形成不全 Q25.7 11 0.1<br>洞不全症候群 149.5 12 0.1 Fallot四俊症 Q21.3 689 5.8<br>房室解離 145.8 3 0.0 Fallot三俊症 Q21.9 1 0.0<br>先天性心疾患等 石胸心 Q24.0 26 0.2<br>心房中隔欠損症 Q21.1 871 7.3 総動脈幹遺残症 Q20.0 23 0.2<br>心内膜床欠損 Q21.2等 265 2.2 僧帽弁閉鎖症 Q23.2 22 0.2<br>(以下、再揭)  | 固有心室性調律   | I47. 2C          | 1    | 0.0   | 肺動脈狭窄症                                  | Q25.6等     | 511    | 4.3  |
| 発作性頻拍 147.9A 29 0.2 肺動脈弁下狭窄症 Q24.3 3 0.0<br>非発作性頻拍 147.9B 2 0.0 肺動脈弁異形成 Q22.3 4 0.0<br>心房細動 148 11 0.1 肺動脈形成不全 Q25.7 11 0.1<br>洞不全症候群 149.5 12 0.1 Fallot四徴症 Q21.3 689 5.8<br>房室解離 145.8 3 0.0 Fallot三徴症 Q21.0B 5 0.0<br>左受中隔欠損症 Q21.1 871 7.3 総動脈幹遺残症 Q20.0 23 0.2<br>心内膜床欠損 Q21.2等 265 2.2 僧帽弁閉鎖症 Q23.2 22 0.2<br>僧帽弁狭窄症 105.0 24 0.2<br>僧帽弁狭窄症 105.0 24 0.2<br>管帽弁上狭窄症 105.0 1 0.0<br>完全型心内膜床欠損 Q21.2B 83 0.7 僧帽弁閉鎖不全症 134.0 164 1.4<br>単心房 Q20.8 22 0.2 僧帽弁膀鎖症候群 134.1 13 0.1<br>心室中隔欠損症 Q21.0 2345 19.6 大動脈弁密症 Q23.0 202 1.7<br>単心室 Q20.4 165 1.4 (以下、再掲)<br>動脈管閉存症 Q25.0 373 3.1 大動脈弁狭窄症 Q23.0 202 1.7<br>単心室 Q20.4 165 1.4 (以下、再掲)<br>動脈管開存症 Q25.0 373 3.1 大動脈弁狭窄症 Q23.0 202 1.7<br>足動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁形狭窄症 Q23.0 202 2.2<br>定動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁形狭窄症 Q23.1 1.15.1 59 0.5<br>(以下、再掲)<br>定動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁強脱 Q23.1 A 1 0.0<br>左冠動脈肺動脈起始症Q24.5 A 7 0.1 大動脈升強脱 Q23.1 A 1 0.0<br>左冠動脈肺動脈起始症Q24.5 B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 3 4 0.3<br>両冠動脈肺動脈起始症Q24.5 C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 3 4 0.3<br>両冠動脈肺動脈起始症Q24.5 C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 5 0.0<br>大動脈疾 Q24.5 C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 5 0.0<br>大動脈疾 Q24.5 C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 5 0.0<br>大動脈疾 Q24.5 C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q25.1 157 1.3<br>足動脈瘻 Q24.5 C 1 0.0 大動脈希容症 Q25.1 157 1.3<br>足動脈瘻 Q24.5 C 1 0.0 大動脈発酵症 Q25.3 48 0.4<br>大動脈疾 Q24.5 C 1 0.0 大動脈発閉鎖症 Q25.3 48 0.4<br>大動脈疾 P32.0 C 24 0.2<br>大動脈疾 P32.0 C 24 0.2<br>大動脈疾 P32.0 C 24 0.2<br>大動脈痛容症 Q25.1 157 1.3<br>足動脈疾 Q25.1 157 1.3<br>足動脈疾 Q24.5 C 1 0.0 大動脈希痒症 Q25.1 157 1.3<br>足動脈疾 Q24.5 C 1 0.0 大動脈希痒症 Q25.3 48 0.4<br>大動脈疹形(以下、再掲)Q25.4 等 16 0.1<br>大動脈疾 Q24.5 C 1 0.0 大動脈音解症 Q25.3 48 0.4<br>大動脈疾 P32.0 C 25.1 157 1.3<br>足動脈疾 Q24.5 C 1 0.0 大動脈希痒症 Q25.3 48 0.4<br>大動脈痛移に以下、再掲)Q25.4 等 16 0.1<br>大動脈系形 Q25.3 48 0.4<br>大動脈系形 (以下、再掲)Q25.4 等 16 0.1<br>「対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対   | 詳細不明な頻拍   | I47.9等           | 43   | 0.4   | (以下、再掲)                                 |            |        |      |
| 非発作性頻拍 I47.9B 2 0.0 肺動脈弁異形成 Q22.3 4 0.0 心房細動 I48 11 0.1 肺動脈形成不全 Q25.7 11 0.1 洞不全症候群 I49.5 12 0.1 Fallot四徴症 Q21.3 689 5.8 房室解離 I45.8 3 0.0 Fallot三徴症 Q21.9 1 0.0 右室二腔症 Q21.0B 5 0.0 左至腔原大損症 Q21.2等 265 2.2 僧帽弁閉鎖症 Q20.0 23 0.2 位内膜床欠損 Q21.2等 265 2.2 僧帽弁閉鎖症 Q23.2 22 0.2 伯帽弁上狭窄症 I05.0 4 1 0.0 完全型心内膜床欠損Q21.2B 83 0.7 僧帽弁B類不全症 I34.0 164 1.4 单心房 Q20.8 22 0.2 僧帽弁膀鎖症 Q23.0 202 1.7 单心室 Q20.4 165 1.4 以下、再揭) 大動脈管開存症 Q25.0 373 3.1 大動脈弁狭窄症 Q23.0 202 1.7 上動脈角脈中肠脈中隔欠損症 Q21.4 4 0.0 大動脈弁狭窄症 Q23.0B 5 0.0 大動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁開鎖不全症 Q23.1H 135.1 59 0.5 左至動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.1A 1 0.0 左立低形成症候群 Q23.1A 1 0.0 左立骶脉肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 34 0.3 两冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 34 0.3 正動脈應 Q24.5E 4 0.0 大動脈升開鎖 Q25.3 48 0.4 大動脈亦形(以下、再揭) Q25.4等 16 0.1 大動脈升開鎖症 Q25.3 48 0.4 大動脈療形(以下、再揭)Q25.4等 16 0.1 大動脈升開鎖 Q25.3 48 0.4   | (以下、再掲)   |                  |      |       | 肺動脈弁狭窄症                                 | 137.0      | 315    | 2.6  |
| □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □  | 発作性頻拍   | I47.9A           | 29   | 0. 2  | 肺動脈弁下狭窄症                                | Q24. 3     | 3      | 0.0  |
| 周不全症候群 I49.5 12 0.1 Fallot四徴症 Q21.3 689 5.8 房室解離 I45.8 3 0.0 Fallot三徴症 Q21.9 1 0.0 0.0   | 非発作性頻拍  | I47.9B           | 2    | 0.0   | 肺動脈弁異形成                                 | Q22. 3     | 4      | 0.0  |
| 房室解離 I45.8 3 0.0 Fallot三徴症 Q21.9 1 0.0<br>先天性心疾患等 右胸心 Q24.0 26 0.2<br>心房中隔欠損症 Q21.1 871 7.3 総動脈幹遺残症 Q20.0 23 0.2<br>心内膜床欠損 Q21.2等 265 2.2 僧帽弁閉鎖症 Q23.2 22 0.2<br>(以下、再掲)   | 心房細動  | I48              | 11   | 0. 1  | 肺動脈形成不全                                 | Q25. 7     | 11     | 0. 1 |
| 大天性心疾患等  | 洞不全症候群  | I49. 5           | 12   | 0. 1  | Fallot四徵症                               | Q21.3      | 689    | 5.8  |
|  | 房室解離  | I45. 8           | 3    | 0.0   | Fallot三徴症                               | Q21. 9     | 1      | 0.0  |
| 心房中隔欠損症 Q21.1 871 7.3 総動脈幹遺残症 Q20.0 23 0.2 心内膜床欠損 Q21.2等 265 2.2 僧帽弁閉鎖症 Q23.2 22 0.2 (以下、再揭)   |   |                  |      |       | 右室二腔症                                   | Q21.0B     | 5      | 0.0  |
| 心内膜床欠損<br>(以下、再掲)       Q21.2等       265       2.2       僧帽弁閉鎖症<br>僧帽弁狭窄症       Q23.2       22       0.2         不完全型心内膜床欠損Q21.2A       8       0.1       僧帽弁比狭窄症<br>僧帽弁上狭窄症       105.0A       1       0.0         完全型心内膜床欠損Q21.2B       83       0.7       僧帽弁開鎖不全症<br>僧帽弁选脱症候群       134.0       164       1.4         単心房<br>心室中隔欠損症       Q20.8       22       0.2       僧帽弁晚脱症候群       134.1       13       0.1         心室中隔欠損症       Q21.0       2345       19.6       大動脈狭窄症       Q23.0       202       1.7         単心室       Q20.4       165       1.4       (以下、再掲)       大動脈弁狭窄症       Q23.0A       106       0.9         大動脈前外下狭窄症       Q23.0A       106       人動脈弁狭窄症       Q23.0B       5       0.0         大動脈異常       Q24.5等       508       4.2       大動脈弁閉鎖不全症       Q23.0C       24       0.2         短動脈肺動脈起始症Q24.5A       7       0.1       大動脈升邊脱       Q23.1A       1       0.0         左冠動脈肺動脈起始症Q24.5B       1       0.0       大動脈升閉鎖症       Q23.1A       34       0.3         西冠動脈肺水       Q24.5D       12       0.1       大動脈希窄症       Q25.1       157       1.3         五動脈赤       Q24   | 先天性   | 心疾患等             |      |       | 右胸心                                     | Q24. 0     | 26     | 0. 2 |
| (以下、再掲) 僧帽弁狭窄症 105.0 24 0.2 不完全型心内膜床欠損Q21.2A 8 0.1 僧帽弁上狭窄症 105.0A 1 0.0 完全型心内膜床欠損Q21.2B 83 0.7 僧帽弁閉鎖不全症 134.0 164 1.4 単心房 Q20.8 22 0.2 僧帽弁逸脱症候群 134.1 13 0.1 心室中隔欠損症 Q21.0 2345 19.6 大動脈狭窄症 Q23.0 202 1.7 単心室 Q20.4 165 1.4 (以下、再掲) 動脈管開存症 Q25.0 373 3.1 大動脈弁狭窄症 Q23.0A 106 0.9 大動脈肺動脈中隔欠損症 大助脈弁下狭窄症 Q23.0B 5 0.0 大動脈異常 Q21.4 4 0.0 大動脈弁上狭窄症 Q23.0C 24 0.2 冠動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁閉鎖不全症 Q23.1+135.1 59 0.5 (以下、再掲) 大動脈肺動脈起始症Q24.5A 7 0.1 大動脈弁洗娩院 Q23.1A 1 0.0 左冠動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左冠動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 34 0.3 両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 34 0.3 両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 34 0.3 西冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 34 0.3 面冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 5 0.0 元動静脈瘻 Q24.5D 12 0.1 大動脈縮窄症 Q25.1 157 1.3 元動脈瘻 Q24.5E 4 0.0 大動脈弓閉鎖 Q25.3 48 0.4 大動脈香形(以下、再掲)Q25.4等 16 0.1 7イゼンメングル症候群 Q21.8 1 0.0  | 心房中隔欠損症   | Q21. 1           | 871  | 7. 3  | 総動脈幹遺残症                                 | Q20. 0     | 23     | 0. 2 |
| 不完全型心内膜床欠損Q21. 2A 8 0. 1 僧帽弁上狭窄症 105. 0A 1 0. 0 完全型心内膜床欠損Q21. 2B 83 0. 7 僧帽弁閉鎖不全症 134. 0 164 1. 4 単心房 Q20. 8 22 0. 2 僧帽弁脱症候群 134. 1 13 0. 1 心室中隔欠損症 Q21. 0 2345 19. 6 大動脈狭窄症 Q23. 0 202 1. 7 単心室 Q20. 4 165 1. 4 (以下、再揭)   | 心内膜床欠損  | Q21.2等           | 265  | 2. 2  | 僧帽弁閉鎖症                                  | Q23. 2     | 22     | 0. 2 |
| 完全型心内膜床欠損 Q21.2B 83 0.7 僧帽弁閉鎖不全症 134.0 164 1.4 単心房 Q20.8 22 0.2 僧帽弁逸脱症候群 134.1 13 0.1 心室中隔欠損症 Q21.0 2345 19.6 大動脈狭窄症 Q23.0 202 1.7 単心室 Q20.4 165 1.4 (以下、再掲) 動脈管開存症 Q25.0 373 3.1 大動脈弁狭窄症 Q23.0A 106 0.9 大動脈肺動脈中隔欠損症 大動脈弁下狭窄症 Q23.0B 5 0.0 Q21.4 4 0.0 大動脈弁上狭窄症 Q23.0C 24 0.2 冠動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁別鎖不全症 Q23.1+135.1 59 0.5 (以下、再掲) 大動脈弁助脈起始症Q24.5A 7 0.1 大動脈弁逸脱 Q23.1A 1 0.0 左冠動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 34 0.3 両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 34 0.3 面冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 34 0.3 面冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 5 0.0 反動脈療 Q24.5D 12 0.1 大動脈発殖症 Q25.1 157 1.3 至動脈瘻 Q24.5E 4 0.0 大動脈弓閉鎖 Q25.3 48 0.4 大動脈形形(以下、再掲)Q25.4等 16 0.1 7代でソンドル症候群 Q21.8 1 0.0   | (以下、再掲)   |                  |      |       | 僧帽弁狭窄症                                  | 105.0      | 24     | 0. 2 |
| 単心房 Q20.8 22 0.2 僧帽弁逸脱症候群 I34.1 13 0.1 心室中隔欠損症 Q21.0 2345 19.6 大動脈狭窄症 Q23.0 202 1.7 単心室 Q20.4 165 1.4 (以下、再掲) 動脈管閉存症 Q25.0 373 3.1 大動脈弁狭窄症 Q23.0A 106 0.9 大動脈静動脈中隔欠損症 大動脈弁下狭窄症 Q23.0B 5 0.0 Q21.4 4 0.0 大動脈弁上狭窄症 Q23.0C 24 0.2 冠動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁閉鎖不全症 Q23.1+I35.1 59 0.5 (以下、再掲) 上短動脈肺動脈起始症Q24.5A 7 0.1 大動脈二尖弁 Q23.1B 1 0.0 左冠動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 34 0.3 両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 34 0.3 西診脈腫 Q24.5D 12 0.1 大動脈弁閉鎖症 Q25.1 157 1.3 足動脈瘻 Q24.5E 4 0.0 大動脈弓閉鎖 Q25.3 48 0.4 大動脈奪 Q24.5E 4 0.0 大動脈弓閉鎖 Q25.3 48 0.4  | 不完全型心内膜原  | 末欠損Q21.2A        | 8    | 0. 1  | 僧帽弁上狭窄症                                 | I05.0A     | 1      | 0.0  |
| <ul> <li>心室中隔欠損症 Q21.0 2345 19.6 大動脈狭窄症 Q23.0 202 1.7 単心室 Q20.4 165 1.4 (以下、再掲)</li> <li>動脈管開存症 Q25.0 373 3.1 大動脈弁狭窄症 Q23.0A 106 0.9 大動脈前動脈中隔欠損症 大動脈弁下狭窄症 Q23.0B 5 0.0 Q21.4 4 0.0 大動脈弁上狭窄症 Q23.0C 24 0.2 冠動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁開鎖不全症 Q23.1+I35.1 59 0.5 (以下、再掲)</li> <li>左冠動脈肺動脈起始症Q24.5A 7 0.1 大動脈弁逸脱 Q23.1A 1 0.0 左冠動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 34 0.3 両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4 34 0.3 西動脈瘻 Q24.5D 12 0.1 大動脈弁閉鎖症 Q25.1 157 1.3 足動脈瘻 Q24.5E 4 0.0 大動脈弓閉鎖 Q25.3 48 0.4 大動脈赤形(以下、再掲)Q25.4等 16 0.1 7/t*ンメンケル症候群 Q21.8 1 0.0</li> </ul>  | 完全型心内膜床。  | 欠損 Q21.2B        | 83   | 0. 7  | 僧帽弁閉鎖不全症                                | I34. 0     | 164    | 1.4  |
| 単心室       Q20.4       165       1.4       (以下、再掲)         動脈管開存症       Q25.0       373       3.1       大動脈弁狭窄症       Q23.0A       106       0.9         大動脈肺動脈中隔欠損症       大動脈弁下狭窄症       Q23.0B       5       0.0         Q21.4       4       0.0       大動脈弁上狭窄症       Q23.0C       24       0.2         活動脈異常       Q24.5等       508       4.2       大動脈弁閉鎖不全症       Q23.1+I35.1 59       0.5         (以下、再掲)       大動脈弁逸脱       Q23.1A       1       0.0         左冠動脈肺動脈起始症Q24.5A       7       0.1       大動脈二尖弁       Q23.1B       1       0.0         右冠動脈肺動脈起始症Q24.5B       1       0.0       大動脈弁閉鎖症       Q23.4       34       0.3         西動脈腫動脈建始症Q24.5C       1       0.0       大動脈弁閉鎖症       Q23.4A       5       0.0         定動静脈瘻       Q24.5D       12       0.1       大動脈高窄症       Q25.1       157       1.3         で動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等       16       0.1       7/t*ンソンケッル症候群       Q21.8       1       0.0  | 単心房   | Q20. 8           | 22   | 0. 2  | 僧帽弁逸脱症候群                                | I34. 1     | 13     | 0. 1 |
| 動脈管開存症 Q25.0 373 3.1 大動脈弁狭窄症 Q23.0A 106 0.9 大動脈肺動脈中隔欠損症 大動脈弁下狭窄症 Q23.0B 5 0.0 Q21.4 4 0.0 大動脈弁上狭窄症 Q23.0C 24 0.2 冠動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁閉鎖不全症 Q23.1+135.1 59 0.5 (以下、再掲) 大動脈肺動脈起始症Q24.5A 7 0.1 大動脈二尖弁 Q23.1B 1 0.0 左冠動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 34 0.3 両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4A 5 0.0 冠動静脈瘻 Q24.5D 12 0.1 大動脈部開鎖症 Q25.1 157 1.3 冠動脈瘻 Q24.5E 4 0.0 大動脈弓閉鎖 Q25.3 48 0.4 大動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等 16 0.1 7イゼンメングル症候群 Q21.8 1 0.0  | 心室中隔欠損症   | Q21.0            | 2345 | 19. 6 | 大動脈狭窄症                                  | Q23. 0     | 202    | 1.7  |
| 大動脈肺動脈中隔欠損症<br>Q21.4 4 0.0 大動脈弁上狭窄症 Q23.0C 24 0.2<br>冠動脈異常 Q24.5等 508 4.2 大動脈弁閉鎖不全症 Q23.1+I35.1 59 0.5<br>(以下、再掲) 大動脈弁逸脱 Q23.1A 1 0.0<br>左冠動脈肺動脈起始症Q24.5A 7 0.1 大動脈二尖弁 Q23.1B 1 0.0<br>右冠動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 34 0.3<br>両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4A 5 0.0<br>冠動静脈瘻 Q24.5D 12 0.1 大動脈縮窄症 Q25.1 157 1.3<br>冠動脈瘻 Q24.5E 4 0.0 大動脈弓閉鎖 Q25.3 48 0.4<br>大動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等 16 0.1 7イゼンメングル症候群 Q21.8 1 0.0   | 単心室   | Q20. 4           | 165  | 1.4   | (以下、再掲)                                 |            |        |      |
| Q21.4       4       0.0       大動脈弁上狭窄症       Q23.0C       24       0.2         冠動脈異常       Q24.5等       508       4.2       大動脈弁閉鎖不全症       Q23.1+I35.159       0.5         (以下、再掲)       大動脈弁規脱       Q23.1A       1       0.0         左冠動脈肺動脈起始症Q24.5A       7       0.1       大動脈二尖弁       Q23.1B       1       0.0         右冠動脈肺動脈起始症Q24.5B       1       0.0       左心低形成症候群       Q23.4       34       0.3         両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C       1       0.0       大動脈弁閉鎖症       Q23.4A       5       0.0         短動脈瘻       Q24.5D       12       0.1       大動脈縮窄症       Q25.1       157       1.3         定動脈瘻       Q24.5E       4       0.0       大動脈弓閉鎖       Q25.3       48       0.4         大動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等       16       0.1       7イゼンメングル症候群       Q21.8       1       0.0  | 動脈管開存症  | Q25. 0           | 373  | 3. 1  | 大動脈弁狭窄症                                 | Q23. 0A    | 106    | 0. 9 |
| 記動脈異常   Q24.5等   508   4.2   大動脈弁閉鎖不全症   Q23.1+I35.159   0.5   (以下、再掲)   大動脈弁逸脱   Q23.1A   1   0.0     た記動脈肺動脈起始症Q24.5A   7   0.1   大動脈二尖弁   Q23.1B   1   0.0     た心低形成症候群   Q23.4   34   0.3     両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C   1   0.0   大動脈弁閉鎖症   Q23.4A   5   0.0  | 大動脈肺動脈中隔差   | 欠損症              |      |       | 大動脈弁下狭窄症                                | Q23. 0B    | 5      | 0.0  |
| 大動脈弁逸脱       Q23.1A       1       0.0         左冠動脈肺動脈起始症Q24.5A       7       0.1       大動脈二尖弁       Q23.1B       1       0.0         右冠動脈肺動脈起始症Q24.5B       1       0.0       左心低形成症候群       Q23.4       34       0.3         両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C       1       0.0       大動脈弁閉鎖症       Q23.4A       5       0.0         短動静脈瘻       Q24.5D       12       0.1       大動脈縮窄症       Q25.1       157       1.3         定動脈瘻       Q24.5E       4       0.0       大動脈弓閉鎖       Q25.3       48       0.4         大動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等       16       0.1       7イゼンメングル症候群       Q21.8       1       0.0   |   | Q21. 4           | 4    | 0.0   | 大動脈弁上狭窄症                                | Q23. 0C    | 24     | 0. 2 |
| 大動脈弁逸脱       Q23.1A       1       0.0         左冠動脈肺動脈起始症Q24.5A       7       0.1       大動脈二尖弁       Q23.1B       1       0.0         右冠動脈肺動脈起始症Q24.5B       1       0.0       左心低形成症候群       Q23.4       34       0.3         両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C       1       0.0       大動脈弁閉鎖症       Q23.4A       5       0.0         短動静脈瘻       Q24.5D       12       0.1       大動脈縮窄症       Q25.1       157       1.3         定動脈瘻       Q24.5E       4       0.0       大動脈弓閉鎖       Q25.3       48       0.4         大動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等       16       0.1       7イゼンメングル症候群       Q21.8       1       0.0   | 冠動脈異常   | Q24.5等           | 508  | 4. 2  | 大動脈弁閉鎖不全症                               | Q23. 1+I35 | . 1 59 | 0. 5 |
| 右冠動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 34 0.3 両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4A 5 0.0 冠動静脈瘻 Q24.5D 12 0.1 大動脈縮窄症 Q25.1 157 1.3 冠動脈瘻 Q24.5E 4 0.0 大動脈弓閉鎖 Q25.3 48 0.4 大動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等 16 0.1 7イゼンメンゲル症候群 Q21.8 1 0.0  | (以下、再掲)   |                  |      |       | 大動脈弁逸脱                                  | Q23. 1A    | 1      | 0. 0 |
| 右冠動脈肺動脈起始症Q24.5B 1 0.0 左心低形成症候群 Q23.4 34 0.3 両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C 1 0.0 大動脈弁閉鎖症 Q23.4A 5 0.0 冠動静脈瘻 Q24.5D 12 0.1 大動脈縮窄症 Q25.1 157 1.3 冠動脈瘻 Q24.5E 4 0.0 大動脈弓閉鎖 Q25.3 48 0.4 大動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等 16 0.1 7イゼンメングル症候群 Q21.8 1 0.0  | 左冠動脈肺動脈   | 包始症Q24.5A        | 7    | 0. 1  | 大動脈二尖弁                                  | Q23. 1B    | 1      | 0. 0 |
| 両冠動脈肺動脈起始症Q24.5C   1 0.0   大動脈弁閉鎖症 Q23.4A   5 0.0  | 右冠動脈肺動脈   | 起始症Q24.5B        | 1    | 0.0   | 左心低形成症候群                                |            | 34     |      |
| 短動静脈瘻Q24.5D120.1大動脈縮窄症Q25.11571.3冠動脈瘻Q24.5E40.0大動脈弓閉鎖Q25.3480.4大動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等160.17イゼンメングル症候群Q21.810.0   | <b>両冠動脈肺動脈</b>  | 起始症Q24.5C        | 1    | 0.0   |   |            |        |      |
| 記動脈瘻   Q24.5E   4   0.0   大動脈弓閉鎖   Q25.3   48   0.4   大動脈奇形(以下、再掲) Q25.4等   16   0.1   アイセ・ンメンケ・ル症候群   Q21.8   1   0.0   | 冠動静脈瘻   | Q24.5D           | 12   | 0. 1  |   | -          |        |      |
| 大動脈奇形(以下、再掲)Q25.4等 16 0.1 アイゼンメンゲル症候群 Q21.8 1 0.0  |   |                  |      |       | *** *** *                               |            |        |      |
| / Andre 14A  |   | 再掲) Q25. 4等      | 16   | 0. 1  |   |            |        |      |
|  | 血管輪   | Q25. 4C          | 10   | 0. 1  | 完全大血管転位症                                |            | 244    |      |

| 修正大血管転位症      | Q20. 5  | 61   | 0. 5  |
|---------------|---------|------|-------|
| 両大血管右室起始症     | Q20. 1  | 210  | 1.8   |
| 両大血管左室起始症     |         | 4    | 0.0   |
|               |         |      |       |
| その他           |         |      |       |
| 無脾症           | Q89. 0  | 37   | 0.3   |
| 多脾症候群         | Q89. 0A | 8    | 0.1   |
| 小児原発性肺高血圧     | 症I27.0  | 49   | 0. 4  |
| 慢性肺性心         | 127.9   | 99   | 0.8   |
| (体)動静脈ろう      | Q27.3   | 3    | 0.0   |
| 体静脈異常還流症      | Q27.8A  | 3    | 0.0   |
| 心臟横紋筋腫        | D15.1A  | 1    | 0.0   |
| 心臟腫瘍(粘液腫、横    | 紋筋腫、脂   | 防腫、線 | 維腫)   |
|               | D48.7   | 18   | 0. 2  |
| 収縮性心外膜炎       | I31. 1  | 1    | 0.0   |
| 慢性緊縮性心膜炎      | I31.8   | 1    | 0.0   |
| 慢性心膜炎         | I31.9   | 5    | 0.0   |
| 慢性心内膜炎        | I38     | 1    | 0.0   |
| 慢性心筋炎         | I51.4   | 171  | 1.4   |
| 先天性心膜欠損症      | Q24.8E  | 15   | 0. 1  |
| 他の先天性心奇形      | Q24.8   | 2    | 0.0   |
| 慢性心不全         | I50. 9  | 4    | 0.0   |
| 心筋炎後の心肥大      | I51.7   | 14   | 0. 1  |
| 川崎病           | M30.3   | 1503 | 12. 5 |
| 冠動脈瘤          | I25. 4  | 972  | 8. 1  |
| 冠動脈拡張症        | Q24. 5F | 491  | 4. 1  |
| 冠動脈狭窄症        | Q24. 5G | 2    | 0.0   |
| 狭心症           | I20. 9  | 1    | 0.0   |
| 心筋梗塞          | I21.9   | 3    | 0. 0  |
|               |         |      |       |
| 水晶体脱臼         | Q12. 1  | 1    | 0.0   |
| (本来は小慢対象      |         |      |       |
| 不明(コンピュータ入力ミス | 等)      | 0    | 0.0   |

#### 5) 内分泌疾患

平成14年度の「内分泌疾患」に関する集計結果を表5に示す。登録人数は30,215人であり、11年度の29,178人、12年度の30,690人、13年度の31,640人とほぼ同様であった<sup>51</sup>。各疾患ごとの登録人数も大きな差はみられなかった。

登録人数が多い順に、成長ホルモン分泌不全 性低身長症39.1%、甲状腺機能低下症19.8%、 甲状腺機能亢進症10.3%、思春期早発症7.1%、 慢性甲状腺炎3.6%、ターナー症候群3.6%、先 天性副腎過形成3.3%であり、これらの7疾患で 内分泌疾患の86.8%を占めていた。

# 表 5、内分泌疾患(H14年度症例)

Endocrine Diseases

(合計30,215人)、(新規診断5,265人、継続23,590人、転入162人、無記入1198人) (男子13,835人、女子16,139人、無記入241人) (国の小慢事業30,107人、県単独事業108人)

北海道894人、青森県312人、岩手県388人、 宮城県438人、秋田県188人、山形県319人、 福島県385人、茨城県286人、栃木県293人、 群馬県275人、埼玉県1331人、千葉県896人、 東京都1553人、神奈川県148人、新潟県542人、 富山県280人、石川県112人、福井県187人、 山梨県255人、長野県224人、岐阜県361人、 静岡県448人、愛知県1234人、三重県546人、 滋賀県514人、京都府148人、大阪府1762人、 兵庫県1071人、奈良県357人、和歌山県205人、 鳥取県160人、島根県180人、岡山県253人、 広島県874人、山口県477人、徳島県、 香川県237人、受媛県、高知県144人、 福岡県609人、佐賀県244人、長崎県328人、 熊本県332人、大分県194人、宮崎県233人、 鹿児島県381人、沖縄県662人、 札幌市632人、仙台市368人、千葉市124人、 横浜市980人、川崎市264人、名古屋市486人、 京都市、大阪市620人、神戸市508人、 広島市309人、北九州市193人、福岡市309人、 秋田市111人、郡山市59人、宇都宮市94人、 新潟市117人、富山市95人、金沢市92人、 岐阜市99人、静岡市153人、浜松市295人、 豊田市92人、堺市248人、姫路市83人、 和歌山市128人、岡山市322人、福山市235人、 高知市110人、長崎市151人、熊本市228人、 大分市118人、宮崎市117人、鹿児島市222人、 いわき市79人、長野市、豊橋市142人、 高松市124人、旭川市92人、横須賀市95人、 松山市147人、奈良市132人、倉敷市182人 計85都道府県市の集計結果

疾患名 人数(人) ICD10 % 視床下部・下垂体疾患 下垂体機能低下症 E23. 0A 299 1.0 ゴナドトロピン欠乏症 E23. 0B 48 0.2 副腎皮質刺激ホルモン欠乏症 E23, 0C 18 0.1

| 甲状腺刺激ホルモン欠ス |           | 16    | 0. 1  |             | E20. 0          | 186     | 0.6   |
|-------------|-----------|-------|-------|-------------|-----------------|---------|-------|
| 成長ホルモン分泌を   | 下全性低身長    | 症     |       | 先天性副甲状腺欠抗   | 負症E20.9         | 9       | 0.0   |
|             | E23. 0E   | 11804 | 39. 1 | 仮性副甲状腺機能の   | 氐下症             |         |       |
| (成長ホルモン)    | 台療用意見書    |       |       |             | E20. 1          | 131     | 0.4   |
| 初回申請:181    | 6人、継続申    | 請:67  | 59人)  | 副甲状腺腺腫      | D35. 1          | 2       | 0.0   |
| プロラクチン欠乏症   | E23. 0F   | 45    | 0. 1  | 原発性副甲状腺機能   | <b></b><br>走亢進症 |         |       |
| 詳細不明の下垂体    | 幾能低下症     |       |       |             | E21.0           | 7       | 0. 0  |
|             | E23. 0    | 208   | 0. 7  | 続発性副甲状腺機能   | <b></b><br>能亢進症 |         |       |
| 下垂体性尿崩症     | E23. 2    | 362   | 1. 2  |             | E21. 1          | 2       | 0. 0  |
| 腎性尿崩症       | N25. 1    | 125   | 0. 4  | 特発性副甲状腺機能   | <b></b><br>能亢進症 |         |       |
| 下垂体腺腫       | D35.2     | 5     | 0. 0  |             | E21. 3          | 17      | 0. 1  |
| 下垂体性巨人症     | E22. 0    | 25    | 0. 1  |             |                 |         |       |
| 高プロラクチン血症   | E22. 1    | 7     | 0. 0  | 副腎疾病        | 县               |         |       |
| クッシング病      | E24. 0    | 7     | 0. 0  | アジソン病       | E27. 1          | 46      | 0. 2  |
| 抗利尿ホルモン分泌異常 | 常症候群      |       |       | 副腎形成不全      | Q89. 1          | 46      | 0. 2  |
|             | E22. 2    | 20    | 0. 1  | 21水酸化酵素欠損症  | 定 E25.OA        | 62      | 0. 2  |
|             |           |       |       | (新生児スクリーニンク | で発見:29          | 人、      |       |
| 甲状腺素        | <b></b>   |       |       | 他で発見:20/    | 人、不明:13         | 人)      |       |
| 甲状腺機能低下症    | E03.9等    | 5979  | 19. 8 | 先天性副腎リポイドi  | <b>過形成</b>      |         |       |
| (E00.1の59名、 | E03.9B[後天 | 性甲状   | 腺機能   |             | E25. 0B         | 18      | 0. 1  |
| 低下症]の3名、    | 及び、E03.   | 9C[甲t | 犬腺機能  | 17α水酸化酵素欠抗  | 員症E25.0E        | 1       | 0.0   |
| 低下症]の334/   | 名含)       |       |       | 18水酸化酵素欠損9  | <b>註 E25.0F</b> | 1       | 0.0   |
| (新生児スクリーニンク | で発見:40    | 00人、  |       | 病型不明の先天性語   | 副腎過形成(E         | 25. 0Gσ | )1名含) |
| 他で発見:362    | 2人、不明:1   | 617人) |       |             | E25. 0          | 920     | 3. 0  |
| (以下、再掲)     |           |       |       | (新生児スクリーニンク | で発見:48          | 2人、     |       |
| クレチン症       | E03. 1A   | 4303  | 14. 2 | 他で発見:232    | .人、不明:2         | 06人)    |       |
| (新生児スクリーニンク | で発見:34    | 38人、  |       | 副腎性器症候群     | E25.9           | 87      | 0. 3  |
| 他で発見:163    | 3人、不明:7   | 02人)  |       | アルドステロン分泌不全 | E27. 4B         | 6       | 0.0   |
| 先天性甲状腺ホルヤ   | ン不応症      |       |       | 偽性低アルドステロン症 | E27. 4C         | 20      | 0. 1  |
|             | E03. 1B   | 5     | 0. 0  | 副腎腫瘍(以下、再   | 掲)              | 33      | 0. 1  |
| 慢性甲状腺炎      | E06. 3    | 1102  | 3. 6  | 副腎腺腫        | D35. 0A         | 5       | 0. 0  |
| (E06.5の13名含 | 7)        |       |       | 男性化副腎腫瘍     | D35. 0B         | 3       | 0. 0  |
| 甲状腺炎        | E06. 9    | 25    | 0. 1  | 褐色細胞腫       | D35. OD         | 25      | 0. 1  |
| 甲状腺機能亢進症    | E05. 0    | 3105  | 10. 3 | クッシング症候群    | または周期性          | ACTH症   | 候群    |
| 甲状腺中毒性ネオパラ  | F− E05. 9 | 56    | 0. 2  | (以下、再掲)     | E24.9等          | 213     | 0. 7  |
| 甲状腺ホルモン結合蛋  | 白異常症      |       |       | クッシング症候れ    | 詳 E24.9A        | 29      | 0. 1  |
|             | E07.8     | 5     | 0.0   | 周期性ACTH症候和  | 詳 E24.9B        | 177     | 0. 6  |
| 甲状腺腺腫       | D34       | 123   | 0. 4  | 異所性副腎皮質刺液   | 激ホルモン症候群        |         |       |
| 単純甲状腺腫      | E04. 0    | 204   | 0. 7  |             | E24. 3          | 2       | 0.0   |
| 腺腫様甲状腺腫     | E04.8     | 54    | 0. 2  | 副腎皮質機能亢進物   | 定 E27.0         | 2       | 0.0   |
| 地方性甲状腺腫     | E01.2     | 1     | 0.0   | 特発性アルドステロン症 | E26. 0          | 2       | 0.0   |
| 急性甲状腺炎      | E06. 0    | 4     | 0.0   | 二次性アルドステロン症 | E26. 1          | 1       | 0. 0  |
| 亜急性甲状腺炎     | E06. 1    | 6     | 0.0   | 高アルト・ステロン症  | E26. 9          | 6       | 0. 0  |
|             |           |       |       | V=V分泌異常     | E34.8B          | 4       | 0. 0  |
| 副甲状         | 腺疾患       |       |       | 急性副腎皮質不全    | E27.4A          | 10      | 0.0   |
| 特発性副甲状腺機i   | 能低下症      |       |       |             |                 |         |       |
|             |           |       |       |             |                 |         |       |

| 性ホルモ                                  | ンに関わる         | 疾患   |      | プラダー・ウィリー症候群またはヌーナン症候群           |
|---------------------------------------|---------------|------|------|----------------------------------|
| 原発性性腺機能低下                             |               |      |      | (以下、再掲) Q87.1等 519 1.7           |
| 71170 121 (22/3/17/7/10-12-17/7/      | E29. 1        | 156  | 0. 5 | プラダー・ウィリー症候群 Q87.1A 445 1.5      |
| アンドロゲン不応症                             | E34. 5        | 26   | 0. 1 | (成長ホルモン治療用意見書                    |
| 睾丸欠損症                                 | Q55. 0        | 7    | 0. 0 | 初回申請:37人、継続申請:35人)               |
| 睾丸形成不全                                | Q55. 1        | 30   | 0. 1 | ヌーナン症候群 Q87.1B 60 0.2            |
| クラインフェルター症候群                          | Q98. 4        | 37   | 0. 1 | ローレンス・ムーン・ヒ゛ート゛ル症候群Q87.8A 13 0.0 |
| XXXX                                  | Q98. 1        | 1    | 0. 0 | 神経性食欲不振症 F50.0 2 0.0             |
| 睾丸腫瘍                                  | D40. 1        | 36   | 0. 0 | 早老症 E34.8A 1 0.0                 |
| 原発性性腺機能低下                             |               | 50   | 0. 1 | バーター症候群 E26.8 70 0.2             |
|                                       | E28. 3        | 73   | 0. 2 | 腎血管性高血圧 115.0 60 0.2             |
| 卵巣形成不全                                | Q50. 3        | 10   | 0. 2 | 他の腎性高血圧 115.1 1 0.0              |
| が果心成不主<br>ターナー症候群                     | Q96           | 1093 | 3. 6 | 匹ツ月  工府  瓜/工 115.1 1 0.0         |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | •             |      | 3. 0 | 2型糖尿病 E11.9 1 0.0                |
| (成長ホルモン治                              |               |      | 1.)  |                                  |
| 初回申請:119人                             |               |      |      | (本来は糖尿病に分類)                      |
| <b>卵巣腫瘍</b>                           | D39. 1        | 56   | 0. 2 | 結節性硬化症 Q85.1 2 0.0               |
| 半陰陽                                   | Q56. 0        | 38   | 0. 1 | (本来は神経・筋に分類)                     |
| 男性仮性半陰陽                               | Q56. 1        | 34   | 0. 1 | 多指症 Q69 1 0.0                    |
| 女性仮性半陰陽                               | Q56. 2        | 16   | 0. 1 | (本来は小慢対象外)                       |
| 仮性半陰陽                                 | Q56. 3        | 9    | 0.0  | 不明(コンピュータ入力ミス等) 0 0.0            |
| XXX                                   | Q97. 0        | 1    | 0. 0 |                                  |
| XY女性                                  | Q97. 3        | 7    | 0. 0 | 6)膠原病                            |
| XX男性                                  | Q98. 3        | 9    | 0. 0 | 平成14年度の「膠原病」に関する集計結果を            |
| XYYmale                               | Q98. 5        | 2    | 0. 0 | 表 6 に示す。登録人数は、10年度の6, 125人、      |
| 思春期早発症 E                              | 22. 8+E30. 1  | 2145 | 7. 1 | 11年度3,626人、12年度3,269人、13年度3,189  |
| 仮性思春期早発症                              | E30. 1A       | 12   | 0. 0 | 人、14年度3,141人と減少傾向がみられた5)。        |
| ゴナドトロピン非分泌性                           | 性早熟症          |      |      | 県単での登録が減少したためと考えられる。             |
|                                       | E30. 1B       | 1    | 0.0  | 14年度の各疾患の登録人数は、若年性関節リ            |
| 性腺機能亢進症(男)                            | E29.0         | 1    | 0.0  | ウマチ66.3%、川崎病30.5%の順であり、従来        |
| 性腺機能亢進症(女)                            | E28.8         | 4    | 0.0  | とほぼ同様であった。                       |
| 高エストロゲン症                              | E28. 0        | 1    | 0.0  |                                  |
| 多囊胞性卵巣症候群                             | E28. 2        | 6    | 0. 0 | 表 6 、膠原病(H14年度症例)                |
| (特発性)思春期遅発                            | 症E30.0        | 55   | 0. 2 | Collagen Diseases                |
|                                       |               |      |      | (合計3,141人) 、 (新規診断1,109人、        |
| 膵疾患                                   |               |      |      | 継続1,919人、転入17人、無記入96人)           |
| 全身性リポジストロフィー                          | E88. 1        | 9    | 0. 0 | (男子1,359人、女子1,757人、無記入25人)       |
| 高インスリン血症                              | E16. 1        | 38   | 0. 1 | (国の小慢事業3,055人、県単独事業86人)          |
| 特発性低血糖症                               | E16. 2        | 72   | 0. 2 | (                                |
| グルカゴン分泌異常                             | E16. 3        | 2    | 0. 0 | 北海道74人、青森県74人、岩手県59人、            |
| 高がストリン血症                              | E16. 8        | 3    | 0. 0 | 宮城県34人、秋田県26人、山形県21人、            |
| インスリン分泌異常                             | E16. 9        | 36   | 0. 1 | 福島県26人、茨城県42人、栃木県86人、            |
| <b>膵島細胞腫</b>                          | D13. 7        | 7    | 0. 1 | 群馬県31人、埼玉県148人、千葉県74人、           |
| 孙子四州4月2月里                             | ו .טוע. ו     | •    | 0. 0 | 東京都762人、神奈川県12人、新潟県40人、          |
| その他                                   |               |      |      | 富山県12人、石川県16人、福井県19人、            |
| •                                     | E21 21        | 16   | 0 1  |                                  |
| ラン型小人症                                | E34. 3A       | 16   | 0. 1 | 山梨県8人、長野県68人、岐阜県41人、             |
| 多発性内分泌腺腫症                             | <b>υ44.</b> δ | 9    | 0. 0 | 静岡県16人、愛知県95人、三重県81人、            |

滋賀県41人、京都府9人、大阪府85人、 兵庫県59人、奈良県27人、和歌山県15人、 鳥取県14人、島根県17人、岡山県20人、 広島県28人、山口県28人、徳島県19人、 香川県9人、愛媛県、高知県13人、 福岡県52人、佐賀県19人、長崎県29人、 熊本県13人、大分県16人、宮崎県15人、 鹿児島県53人、沖縄県58人、 札幌市48人、仙台市、千葉市24人、 横浜市74人、川崎市7人、名古屋市34人、 京都市、大阪市31人、神戸市26人、 広島市32人、北九州市16人、福岡市24人、 秋田市3人、郡山市0人、宇都宮市54人、 新潟市13人、富山市6人、金沢市7人、 岐阜市14人、静岡市、浜松市16人、 豊田市5人、堺市27人、姫路市8人、 和歌山市7人、岡山市15人、福山市11人、 高知市8人、長崎市7人、熊本市11人、 大分市9人、宮崎市3人、鹿児島市30人、 いわき市11人、長野市、豊橋市10人、 高松市2人、旭川市6人、横須賀市1人、 松山市10人、奈良市14人、倉敷市13人 計84都道府県市の集計結果

| 疾]患名           | ICD10 | 人数(人 | 、) %  |
|----------------|-------|------|-------|
| リウマチ熱          | 100   | 42   | 1.3   |
| リウマチ性心疾患       | 109.9 | 2    | 0.1   |
| スチーブンス・ジョソン症候群 | L51.1 | 18   | 0.6   |
| 慢性関節リウマチ       | M06.9 | 3    | 0. 1  |
| 若年性関節リウマチ      | M08.2 | 2081 | 66. 3 |
| 川崎病            | M30.3 | 958  | 30. 5 |
| シューグレン症候群      | M35.0 | 33   | 1. 1  |
| 混合性結合組織病       | M35.1 | 2    | 0.1   |
| (特定疾患対象)       |       |      |       |
| 播種性好酸球性膠原病     | M35.8 | 1    | 0.0   |
|                |       |      |       |

#### 7)糖尿病

不明(コンピュータ入力ミス等)

平成14年度の「糖尿病」に関する集計結果を表7に示す。登録人数は5,246人であり、11年度4,929人、12年度5,260人、13年度5,346人とほぼ同様であった<sup>5)</sup>。登録割合は、1型糖尿病70.7%、2型糖尿病19.9%であった。

# 表7、糖尿病(H14年度症例)

#### Diabetes Mellitus

(合計5,246人)、(新規診断914人、 継続3,984人、転入35人、無記入313人) (男子2,308人、女子2,893人、無記入45人) (国の小慢事業5,202人、県単独事業44人)

北海道194人、青森県88人、岩手県76人、 宮城県78人、秋田県42人、山形県74人、 福島県84人、茨城県99人、栃木県64人、 群馬県76人、埼玉県265人、千葉県196人、 東京都246人、神奈川県42人、新潟県111人、 富山県40人、石川県33人、福井県23人、 山梨県37人、長野県80人、岐阜県74人、 静岡県54人、愛知県196人、三重県82人、 滋賀県58人、京都府23人、大阪府178人、 兵庫県138人、奈良県48人、和歌山県39人、 鳥取県25人、島根県29人、岡山県45人、 広島県93人、山口県50人、徳島県51人、 香川県41人、愛媛県、髙知県20人、 福岡県107人、佐賀県56人、長崎県72人、 熊本県75人、大分県58人、宮崎県43人、 鹿児島県93人、沖縄県95人、 札幌市112人、仙台市、千葉市35人、 横浜市253人、川崎市49人、名古屋市60人、 京都市、大阪市95人、神戸市83人、 広島市60人、北九州市39人、福岡市75人、 秋田市18人、郡山市12人、宇都宮市18人、 新潟市36人、富山市17人、金沢市15人、 岐阜市11人、静岡市、浜松市21人、 豊田市12人、堺市48人、姫路市17人、 和歌山市、岡山市28人、福山市27人、 高知市15人、長崎市31人、熊本市34人、 大分市37人、宮崎市11人、鹿児島市34人、 いわき市15人、長野市、豊橋市19人、 高松市12人、旭川市22人、横須賀市30人、 松山市16人、奈良市21人、倉敷市17人 計83都道府県市の集計結果

| 疾患名         | ICD10    | 人数(人) | %     |
|-------------|----------|-------|-------|
| 1型糖尿病       | E10. 9   | 3708  | 70. 7 |
| 2型糖尿病       | E11.9    | 1042  | 19. 9 |
| 糖尿病性ケトアシドーシ | ス E14. l | 7     | 0. 1  |
| 糖尿病性腎症      | E14. 2   | 1     | 0.0   |
| 糖尿病性網膜症     | E14. 3B  | 16    | 0.3   |
| 糖尿病         | E14. 9   | 471   | 9. 0  |

1 0.0

7° ラダ-・ウイリー症候群 Q87.1A 1 0.0 (本来は内分泌疾患に分類) 不明(コンピュータ入力ミス等) 0 0.0

### 8) 先天性代謝異常

平成14年度の「先天性代謝異常」に関する集計結果を表8に示す。登録人数は7,310人であり、11年度の6,373人、12年度7,113人、13年度7,293人とほぼ同様であった<sup>5)</sup>。各疾患ごとの登録人数も大きな差はみられなかった。

登録人数が多い順に、先天性胆道閉鎖症27.6%、総胆管拡張症11.6%、軟骨無形成症10.2%、家族性高コレステロール血症5.6%、骨形成不全症4.9%、ウィルソン病3.5%、フェニルケトン尿症3.2%、糖原病3.6%であった。

現行の新生児マススクリーニング対象疾患に関しては、マススクリーニング実施の項目を無記入として入力・登録しようとした場合、「マススクリーニングの〇の有無を確認して、〇のついていない場合は、医療機関に問い合わせてください」の警告が表示される仕様にした³¹。そのため「マススクリーニングあり」との人数は全体的にやや増加した。また、タンデムマス等新技術によって発見されうる疾患も、その一部はスクリーニングにより発見されていた。

# 表 8 、先天性代謝異常 (H14年度症例)

Inborn Errors of Metabolism (合計7,310人)、(新規診断934人、 継続6,002人、転入49人、無記入325人) (男子3,349人、女子3,880人、無記入81人) (国の小慢事業7,271人、県単独事業39人)

北海道200人、青森県79人、岩手県129人、宮城県115人、秋田県76人、山形県80人、福島県83人、茨城県142人、栃木県78人、群馬県75人、埼玉県329人、千葉県265人、東京都448人、神奈川県44人、新潟県140人、富山県42人、石川県43人、福井県55人、山梨県63人、長野県127人、岐阜県114人、静岡県87人、愛知県274人、三重県111人、滋賀県83人、京都府44人、大阪府397人、兵庫県190人、奈良県72人、和歌山県61人、烏取県39人、島根県41人、岡山県42人、広島県165人、山口県73人、徳島県45人、香川県49人、<del>愛媛県</del>、高知県26人、

福岡県156人、佐賀県65人、長崎県90人、 熊本県72人、大分県41人、宮崎県55人、 鹿児島県130人、沖縄県91人、 札幌市120人、仙台市80人、千葉市57人、 横浜市243人、川崎市54人、名古屋市103人、 京都市、大阪市167人、神戸市108人、 広島市77人、北九州市59人、福岡市107人、 秋田市43人、郡山市25人、宇都宮市28人、 新潟市43人、富山市6人、金沢市22人、 岐阜市23人、静岡市22人、浜松市27人、 豊田市21人、堺市65人、姫路市23人、 和歌山市36人、岡山市58人、福山市56人、 高知市18人、長崎市30人、熊本市59人、 大分市33人、宮崎市22人、鹿児島市44人、 いわき市22人、長野市、豊橋市31人、 高松市21人、旭川市26人、横須賀市22人、 松山市34人、奈良市32人、倉敷市17人 計86都道府県市の集計結果

疾患名 ICD10 人数(人) % tifシンD依存性くる病 E55.0A 4 0.1 フェニルケトン尿症 E70.0 235 3.2 (マススクリーニングで発見:203人、不明:32人) 高フェニルアラニン血症 E70. 0B 57 (マススクリーニング で発見: 47人、不明:10人) 悪性高フェニルアラニン血症 E70.1A 10 (マススクリーニングで発見: 8人、不明: 2人) チロシン代謝異常(以下、再掲) 29 0.4 アルカプトン尿症 E70. 2A 5 0.1 高チロジン血症 E70. 2B 24 0.3 (マススクリーニング で発見: 4人、不明:20人) 白皮症 E70.3B(E70.3の1名含) 32 0.4 キサンツレン酸尿症 E70.8C 1 0.0 ヒドロキシキヌレニン尿症 E70.8F 1 0.0 楓糖尿症 E71.0 26 0.4 (マススクリーニング) で発見:20人、不明: 6人) 側鎖アミノ酸代謝異常(以下、再掲) 99 1.4 **(火吉草酸血症** E71. 1A 6 0.1 プロ゚オン酸血症 E71.1F 27 0.4 (マススクリーニング) で発見: 4人、不明:23人) メチルマロン酸血症 E71. 1H 66 0.9 (マススクリーニング で発見: 2人、不明:64人) 副腎白質ジストロフィー E71.3A 46 0.6 先天性リパーゼ欠損症 E71.3B 1 0.0 カルニチンパ゚ルミチルトランスフェラーセ゛欠損症

|   | E71. 3C              | 14         | 0. 2          | 糖原病垭、X型                         | E74. 0I              | 31                   | 0. 4          |
|---|----------------------|------------|---------------|---------------------------------|----------------------|----------------------|---------------|
| アミノ酸転送異常                                  | E72.0等               | 148        | 2. 0          | 肝型糖原病                           | E74. 01<br>E74. 0J   | 4                    | 0. 4          |
| (以下、再掲)                                   | L12. V <del>17</del> | 110        | 2. 0          | 筋糖原病                            | E74. 05              | 3                    | 0. 1          |
| シスチン症                                     | E72. 0C              | 4          | 0. 1          | 果糖不耐症                           | E74. 0R<br>E74. 1B   | 1                    | 0. 0          |
| 眼脳腎症候群                                    | E72. 0D              | 41         | 0. 6          | フルクトースー1, 6ージホスファターt            |                      | 1                    | 0. 0          |
| シスチン尿症                                    | E72. 0E              | 73         | 1. 0          |                                 | · 人识定<br>274.1D      | 9                    | 0. 1          |
| ファンコニ症候群                                  | E72. 0E              | 24         | 0. 3          |                                 | 74. 1D<br>74. 2等     | 187                  | 2. 6          |
| ハルトナップ。病                                  | E72. 0G              | 4          | 0. 3          | (以下、再掲)                         | 114. 2 <del>17</del> | 101                  | 2. 0          |
| リニヤック症候群                                  | E72. 0J              | 1          | 0. 1          | がラクトース血症                        | E74. 2A              | 170                  | 2. 3          |
| まモシスチン尿症                                  | E72. 1C              | 29         | 0. 0          | * ファビヘ皿症<br>(マススクリーニングで発見       |                      |                      |               |
| (マススクリーニングで発                              |                      |            |               | ガラクトキナーゼ欠損症                     |                      | <b>かり ・ 2 :</b><br>4 | の人)<br>0. 1   |
| メチオニンアテ゛ノシルトランスフェラ                        |                      | , 17J · O  | $\mathcal{N}$ | (マススクリーニングで発見                   |                      | _                    |               |
| r/4-2// / /////////////////////////////// | E72.1D               | 12         | 0. 2          | uridine diphosphat              |                      |                      | $\mathcal{N}$ |
| (マススクリーニングで発                              |                      |            |               | epimerase 欠損症                   | _                    | 2                    | 0. 0          |
| スポックラック で完<br>尿素サイクル代謝異常                  | E72.2等               | 166        | 2. 3          | グルコース・ガラクトース吸収不                 |                      | 2                    | 0. 0          |
| (以下、再掲)                                   | L12. 27              | 100        | ۷, ۵          |                                 | 74. 3                | 15                   | 0. 2          |
|   | E72. 2A              | 2          | 0. 0          | (マススクリーニングで発見                   |                      |                      |               |
| アルキ゛ニノコハク酸尿症                              |                      | 9          | 0. 0          | t゚ルビン酸代謝異常(以                    |                      | 22                   | 0. 3          |
| (マススクリーニングで発                              |                      | _          |               | ピルヒン酸化師共前へめ                     |                      | 22                   | 0. 5          |
| 高アンモニア血症                                  | E72. 2C              | 52         | 0.7           | こ がこ クロダルがホ イング こ               | 下列。<br>E74. 4A       | 19                   | 0. 3          |
| シトルリン血症                                   | E72. 2D              | 40         | 0. 5          | ピルビン酸キナーゼ欠損タ                    |                      | 3                    | 0. 0          |
| (マススクリーニンク゛で発                             |                      |            |               |                                 | E74. 8A              | 5                    | 0. 0          |
| オルニチントランスカルハ゛ミラー                          |                      | יטן יוטי   |               | · · ·                           | 74. 8B               | 13                   | 0. 1          |
| AN-IVETVANNE ST                           | E72. 2E              | 55         | 0.8           |                                 | 274. 8C              | 2                    | 0. 2          |
| カルバミルリン酸合成酵                               |                      | 99         | 0. 6          | ク゛リセルアルテ゛ヒト゛ー3ーリン酸月             |                      |                      |               |
| がいくかりとして日以野                               | 来入頂症<br>E72.2H       | 7          | 0. 1          |                                 | иллянтя<br>274.8D    | · Д. — Ш             | 0.0           |
| グルタル酸血症                                   | E72. 211             | 19         | 0. 1          |                                 | E74. 8D              | 1                    | 0. 0          |
| (マススクリーニンク゛で発                             |                      |            |               |                                 | 775.1C等              |                      | 0. 3          |
| 高リジン血症                                    | 元·1八、1<br>E72.3B     | ا روب<br>1 | 0.0           | (以下、再掲)                         | 210. 10 4            | 22                   | 0. 5          |
| 3-メチルグルタコン酸尿症                             |                      |            |               | ていて、                            | E75. 0B              | 13                   | 0. 2          |
| 5-77/07 10月3760 赤症<br>先天性リシ・ン尿症           | E72. 3E              | 3          | 0. 1<br>0. 0  | GM2ーカ゛ンク゛リオシト゛ーシス               |                      | 13                   | 0. 0          |
| おくほり ノ水症<br>高オルニチン血症                      | E72. 3E              | 11         | 0. 0          | GM1ーカ゛ンク゛リオシト゛ーシス               |                      | 7                    | 0. 0          |
| 高グリシン血症                                   | E72. 4<br>E72. 5A    | 11         | 0. 2          | スフィンコ゛リヒ゜ト゛ーシス                  | E75. 1K<br>E75. 2等   |                      | 1.4           |
| 高ッ タシン証症<br>5−オキソプロリン血症                   | E72. 8A              | 1          | 0. 2          | (以下、再掲)                         | L10, 2 <del>11</del> | 102                  | 1. 7          |
| 9-4-7/ 19/11組織<br>腎性パノ酸尿症                 | E72. 9               | 8          | 0. 0          | Alexander病                      | E75. 2A              | 4                    | 0. 1          |
| 乳糖分解酵素欠損症                                 |                      | 32         | 0. 1          | Gaucher病                        | E75. 2A<br>E75. 2D   | 33                   | 0. 5          |
| 孔楣分解醉来入頂症<br>乳糖不耐症                        | E73. 0<br>E73. 9     |            | 1.0           | Fabry病                          | E75. 2E              | 11                   | 0. 3          |
|   |                      | 71         |               | 異染性ロイコジストロフィー                   |                      |                      |               |
| 糖原病(以下、再揭)                                |                      | 257        | 3. 6          |                                 |                      | 14<br>3              | 0. 2<br>0. 0  |
| 糖原病Ⅰ型                                     | E74. 0A              | 39         | 0. 5          | Krabbe病                         | E75. 2G              |                      |               |
| 糖原病Ⅱ型                                     | E74. 0B              | 15         | 0. 2          | Farber病<br>タ種がなわれており            | E75, 2H              | 2                    | 0.0           |
| 糖原病Ⅲ型                                     | E74. 0C              | 19         | 0.3           | 多種スルファターゼ欠損症<br>Ni amann=Biakks |                      | 5<br>5               | 0. 1          |
| 糖原病IV型                                    | E74. OD              | 4          | 0. 1          | Niemann-Pick病                   | E75. 2J              | Э                    | 0. 1          |
| 糖原病V型                                     | E74. 0E              | 2          | 0. 0          | Pelizaeus-Merzbach              |                      | 0.1                  | A 2           |
| 糖原病VI型                                    | E74. 0F              | 4          | 0. 1          | . /                             | E75. 2K              | 21                   | 0.3           |
| 糖原病VII型                                   | E74. 0G              | 1          | 0.0           | ロイコシ、ストロフィー                     | E75. 2L              | 3                    | 0. 0          |
| 糖原病IX型                                    | E74. 0H              | 3          | 0. 0          | neuronal ceroid lipe            | oiuscinos            | 1 S                  |               |

|  | E75. 4             | 7               | 0. 1         | ビリルビン代謝異常(以下、再掲) 32                               | 0. 4       |
|--|--------------------|-----------------|--------------|---|------------|
| 他のリピド蓄積症                                 | E75. 5等            | 5               | 0. 1         | ジャゲール症候群 E80.4 9                                  |            |
| コレステロールエステル蓄積                            |                    | 3               | 0. 0         | Crigler-Najjar症候群E80.5 4                          |            |
| シアル酸尿症                                   | E75. 5C            | 1               | 0. 0         | デュヒ、ソンジョンソン症候群E80. 6A 13                          |            |
| ムコ多糖症                                    | E76. 3A等           | 135             | 1. 9         | ローター症候群 E80.6B 6                                  |            |
| (以下、再掲)                                  | 210.014            | 100             | 1. 5         | Arm the set a long site                           | 0. 1       |
| Hurler症候群                                | E76. 0A            | 13              | 0. 2         | 銅代謝異常 E83.0等 280<br>(以下、再掲)                       | 3. 9       |
| Hurler-Scheie症                           |                    | . 2             | 0. 2         |   | 0.5        |
| Scheie症候群                                | E76. 0C            | 2               | 0. 0         |   |            |
| Hunter症候群                                | E76. 1A            | 57              | 0. 8         | (マススクリーニンク゛で発見: 3人、不明:29<br>kinky hair病 E83.0B 18 |            |
| ) & de dels els err Hal                  | E76. 1A            | 5               | 0. 0         |   |            |
| ムコ多糖症IV型                                 | E76. 2B            | 4               | 0. 1         | •   | 3. 3       |
| ムコ多糖症四型                                  | E76. 2D            | 1               | 0. 1         | (以下、再掲)   |            |
| βーカ、ラクトシタ、ーセ、ー                           |                    |                 | 0. 0         | 家族性低燐酸血症 E83.3A 112                               | 1.5        |
| א איז איז איז איז איז איז איז איז איז אי | E76. 3C            | 19兆<br>4        | 0. 1         | ビタミンD抵抗性くる病E83.3D 124                             | 1. 7       |
| ムコリヒ゜ト゛ーシス                               | E70.30<br>E77.9等   | 15              | 0. 1         | cystic fibrosis E84.9 17                          | 0. 2       |
| (以下、再掲)                                  | L11.94             | 13              | 0. 2         | 先天性高尿酸血症 E87.2 8                                  | 0. 1       |
| ムコリヒ゜ト゛ーシスⅡ型                             | E77. OA            | 0               | 0. 1         | 遺伝性若年性痛風 M10.9 4                                  | 0. 1       |
| ムコリヒ。ト、ーシス田型                             | E77. OR<br>E77. OB | 8<br>6          | 0. 1<br>0. 1 | α 1-トリプシン抑制物質欠損症 E88. 0A 2                        | 0.0        |
| 高コレステロール血症                               | E78.0等             | 436             | 6. 0         | 無アルフ゛シム症 E88.0B 1                                 | 0.0        |
| (マススクリーニンク゛で発                            |                    |                 |              | 無ハプトグロビン症 E88. 0D 2                               | 0. 0       |
| (以下、再掲)                                  | 5元·21人、个           | \ <i>P</i> 7-41 | 5人)          | 7ポ蛋白C-II 欠損症 E88.8D 2                             | 0.0        |
| 家族性高コレステロール[                             | <b>毎年679 0</b> 4   | 411             | E C          | エンテロキナーセ・欠損症 E88.8F 1                             | 0. 0       |
| 高リポ蛋白血症Ⅱク                                |                    | 19              | 5. 6         | トレハラーセ* 欠損症 E88.8K 1                              | 0.0        |
| 高川。蛋白血症IV型                               | £ 678.06           | 28              | 0. 3         | 先天性アセチルコリンエステラーゼ欠損症                               |            |
| 家族性高カイロミクロン血タ                            |                    |                 | 0. 4         | E88. 8N 2   | 0. 0       |
| 高非蛋白血症 I 型                               |                    | 3               | 0.0          | 20-22desmolase欠損 E88.80 1                         | 0. 0       |
| 高りが、蛋白血症V型                               | E78. 3C            | 4               | 0. 1         | 複合カルボキシラーゼ欠損症E88.8P 8                             | 0. 1       |
| 先天性高脂質血症                                 | E78. 5             | l<br>20         | 0.0          | 分類不明の代謝異常 E88.9 4                                 | 0. 1       |
| アルファリオ。蛋白欠乏症                             | E78. 6A            | 22              | 0.3          | Leigh脳症 G31.8A 2                                  | 0. 0       |
| 家族性低β-リポ蛋白                               |                    | 3               | 0. 0         | 腎尿細管性アシドーシス N25.8 87                              |            |
| 外次注以 p = y = 蛋白                          |                    | _               | 0.1          | 先天性胆道閉鎖症 Q44.2 2019                               | 27. 6      |
| 家族性リポ蛋白欠損症                               | E78. 6B            | 5               | 0. 1         | 総胆管拡張症 Q44.4 847                                  | 11.6       |
| 家族性高リポ蛋白血症                               |                    | 1               | 0.0          | 総胆管嚢腫 D13.5 26                                    | 0. 4       |
| 人<br>Lesch-Nyhan症候群                      |                    | 32              | 0. 4         | 軟骨無形成症 Q77.4 743                                  | 10. 2      |
| 他のプリン、ピリミジンイ                             |                    | 11              | 0. 2         | (成長ホルモン治療用意見書                                     |            |
|  | 吊头临了               | 10              | 0.0          | 初回申請: 54人、継続申請: 273/                              | <b>(</b> ) |
| (以下、再掲)                                  | 21 1 4 .           | 13              | 0. 2         | 骨形成不全症 Q78.0 357                                  | 4. 9       |
| adenine phosphor                         |                    |                 |              | 大理石病 Q78.2 12                                     | 0. 2       |
| 表心醉尸病                                    | E79. 8A            | 12              | 0. 2         | エーラース・ダ ンロス症候群 Q79.6 42                           | 0.6        |
| たい を かい ない こうこう                          | E79.8B             | 1               | 0. 0         | 色素性乾皮症 Q82.1 69                                   | 0. 9       |
| ポルフィリン症(以下、再                             |                    | 17              | 0. 2         | カルタケ <sup>*</sup> ネル症候群 Q89.3 5                   | 0. 1       |
| プロトポルフィリン症                               | E80. 0             | 4               | 0. 1         | 線毛機能不全症候群 Q89.8 10                                | 0. 1       |
| 遺伝性コプロポルフィリ                              |                    | 1               | 0. 0         | 遺伝性血管神経性浮腫T78.3 2                                 | 0. 0       |
| 骨髄性プロトポルフィリ                              |                    | 9               | 0. 1         | and the course of many                            |            |
| 急性間欠性ポルフィリ                               |                    | 1               | 0. 0         | 高インスリン血症 E16.1 1                                  | 0. 0       |
| 先天性ポルフィリン症                               | E80. 2F            | 2               | 0. 0         | (本来は内分泌疾患に分類)                                     |            |

ミトコント・リア脳筋症 G71.3 1 0.0(本来は神経・筋疾患に分類)不明(コンピュータ入力ミス等) 37 0.5

### 9) 血友病等血液疾患

平成14年度の「血友病等血液疾患」に関する 集計結果を表 9 に示す。登録人数は、11年度の 9,035人、12年度9,313人、13年度9,148人に比 較して<sup>5)</sup>、14年度は8,514人であり、血管性紫 斑病の減少傾向に伴い、若干減少傾向がみられ た。

登録人数が多い順に、血管性紫斑病26.5%、 血友病A14.8%、遺伝性球状赤血球症9.5%、 HistiocytosisX (Letterer-Siwe病等を含む) 5.7%、無顆粒球症4.7%、免疫学的血小板減少 症4.1%、溶血性尿毒症症候群4.0%であった。

表 9、血友病等血液疾患 (H14年度症例) Blood Diseases Including Haemophiliae (合計8,514人)、(新規診断1,532人、 継続6,545人、転入61人、無記入376人) (男子5,059人、女子3,381人、無記入74人) (国の小慢事業8,508人、県単独事業6人)

北海道276人、青森県141人、岩手県111人、 宮城県94人、秋田県75人、山形県102人、 福島県159人、茨城県91人、栃木県80人、 群馬県79人、埼玉県371人、千葉県233人、 東京都396人、神奈川県81人、新潟県125人、 富山県54人、石川県36人、福井県36人、 山梨県71人、長野県142人、岐阜県65人、 静岡県77人、愛知県273人、三重県120人、 滋賀県173人、京都府48人、大阪府471人、 兵庫県278人、奈良県186人、和歌山県49人、 鳥取県37人、島根県52人、岡山県53人、 広島県195人、山口県96人、徳島県43人、 香川県49人、爱媛県、高知県42人、 福岡県260人、佐賀県112人、長崎県64人、 熊本県77人、大分県60人、宮崎県45人、 鹿児島県224人、沖縄県126人、 札幌市159人、仙台市、千葉市45人、 横浜市290人、川崎市96人、名古屋市146人、 京都市、大阪市155人、神戸市113人、 広島市157人、北九州市80人、福岡市227人、 秋田市41人、郡山市23人、宇都宮市16人、 新潟市27人、富山市19人、金沢市15人、

岐阜市14人、静岡市、浜松市25人、 豊田市24人、堺市87人、姫路市31人、 和歌山市30人、岡山市65人、福山市49人、 高知市32人、長崎市32人、熊本市57人、 大分市36人、宮崎市22人、鹿児島市114人、 いわき市12人、長野市、豊橋市23人、 高松市28人、旭川市16人、横須賀市46人、 松山市64人、奈良市32人、倉敷市38人 計84都道府県市の集計結果

| 疾患名                | ICD10   | 人数(人) | %    |
|--------------------|---------|-------|------|
| AIDS               | B24     | 6     | 0. 1 |
| 伝染性単核症             | B27.9   | 242   | 2. 8 |
| レットレル・ジーベ病         | C96. 0  | 156   | 1.8  |
| Kasabach-Merritt症例 | 侯群      |       |      |
|                    | D18. 0  | 109   | 1. 3 |
| 真性多血症              | D45     | 5     | 0. 1 |
| 骨髄増殖性疾患            | D47.1   | 12    | 0.1  |
| IgA単クローン免疫グロブ      | リン血症    |       |      |
|                    | D47. 2A | 1     | 0.0  |
| 良性単クローン性免疫グロ       | ヷ゙リン異常  | 症     |      |
|                    | D47. 2B | 1     | 0.0  |
| 血小板血病              | D47.3   | 20    | 0. 2 |
| 悪性貧血               | D51.0   | 5     | 0. 1 |
| 巨赤芽球性貧血            | D53. 1  | 18    | 0. 2 |
| グルコースー6ーリン酸脱水素     | 酵素欠乏    | 性貧血   |      |
|                    | D55.0   | 31    | 0.4  |
| ホスホフルクトキナーゼ欠乏性チ    | 貧血      |       |      |
|                    | D55. 2C | 1     | 0.0  |
| アルドラーゼ欠乏性貧血        |         |       |      |
|                    | D55. 2D | 1     | 0. 0 |
| ピルビン酸キナーゼ欠乏性       | 貧血      |       |      |
|                    | D55. 2G | 6     | 0. 1 |
| 赤血球酵素欠乏性溶」         | 血性貧血    |       |      |
|                    | D55.9   | 1     | 0.0  |
| サラセミア              | D56.9等  | 37    | 0. 4 |
| (以下、再掲)            | )       |       |      |
| αサラセミア             | D56. 1  | 2     | 0.0  |
| βサラセミア             | D56. 1  | 7     | 0. 1 |
| 遺伝性高ヘモグロビント        | F症D56.4 | 1     | 0.0  |
| 鎌状赤血球貧血            | D57.8   | 1     | 0.0  |
| 遺伝性球状赤血球症          | D58. 0  | 808   | 9. 5 |
| 遺伝性楕円赤血球症          | D58. 1  | 11    | 0. 1 |
| 異常ヘモグロビン症          | D58. 2  | 12    | 0. 1 |
| 遺伝性有口赤血球症          |         | 4     | 0.0  |
| 遺伝性非球状性溶血          | 性貧血     |       |      |

| 10日の   |                                    | D58. 9      | 80    | 0. 9  | 無顆粒球症              | D70    | ۸ (D7)   | ነው 1 <i>6 ላ</i> | 今)   |
|--|------------------------------------|-------------|-------|-------|--------------------|--------|----------|-----------------|------|
| 常血性尿毒症症候群 D59.3 337 4.0 関閉性好中球減少症 D70 B 48 0.6 微小血管障害性溶血性貧血 D59.4 2 0.0  | 白口布抗州溶血州谷                          |             |       |       | 755 村村工人1711年      | טוע    | ת (טונ   |                 |      |
| 機小血管障害性溶血性溶血性溶血  |                                    |             |       |       | 再期从权力球减少点          | . 070  | D        |                 |      |
| 発作性夜間へもグロビン尿症  |                                    |             | 201   | 4. 0  |                    |        | ь        | 40              | 0. 0 |
| 発作性夜間ペが" v ドンマ に   | <b>枫小皿官牌音注俗皿</b>                   |             | 0     | 0.0   | 日亡先及往对中外例          |        | C        | 1.4             | 0.0  |
| 日白血球機能異常症   D71   B   56   0.7   日白血球機能異常症   D71   B   56   0.7   日白血球の遺伝性異常   D72   0   11   0.1   日白血球の遺伝性異常   D73   1   12   0.1   日子   日子   日子   日子   日子   日子   日子   日   | マンノといわった日日。エカジョレジン                 |             | 2     | 0. 0  | V 4 17             |        |          |                 |      |
| 発作性寒冷べきパッと、シストの  | 発作性仪间へて ルロフ                        |             | _     | 0 1   | • •                |        | ט        |                 |      |
| D59.6   1 0.0   白血味の遺伝性異常 D72.0   11 0.1   Pi機能亢進性溶血性貧血  | TO THE LILE MENT WAS A PROPERTY.   |             | б     | U. 1  |                    |        |          |                 |      |
| P時機能亢進性溶血性貧血   | 允许性寒行^t/ Ut /                      |             | ,     | 0.0   |                    |        |          |                 |      |
| 無芽球癆   | 0th 146 445 -1- 14- 14- 34- 4- 14- |             | 1     | 0. 0  |                    |        |          |                 |      |
| <ul> <li>赤芽球癆</li> <li>り60.9</li> <li>125</li> <li>1.5</li> <li>大学では、か成症 りつち、8</li> <li>9</li> <li>0.1</li> <li>原発性鉄芽球性貧血</li> <li>D64.0</li> <li>2</li> <li>0.0</li> <li>た天性無球は貧血</li> <li>D64.0</li> <li>2</li> <li>0.0</li> <li>た天性無すがすずりか血症</li> <li>た天性無力がすずりか血症</li> <li>D80.0</li> <li>17</li> <li>0.2</li> <li>た天性無力がすずりか血症</li> <li>D80.1</li> <li>96</li> <li>1.1</li> <li>血管内凝固症候群</li> <li>D65</li> <li>12</li> <li>0.1</li> <li>1g Q 単独穴損症</li> <li>D80.2</li> <li>32</li> <li>0.4</li> <li>血友病 B</li> <li>D67</li> <li>246</li> <li>2.9</li> <li>1g M 投損症</li> <li>D80.0</li> <li>1</li> <li>0.0</li> <li>7xン・ウィルンブランド病</li> <li>D68.0</li> <li>268</li> <li>3.1</li> <li>免疫がっずり少人損症</li> <li>D80.4</li> <li>1</li> <li>0.0</li> <li>7xシ・ウィルンブランド病</li> <li>D68.0</li> <li>268</li> <li>3.1</li> <li>免疫がっずり少大損症</li> <li>D80.4</li> <li>1</li> <li>0.0</li> <li>7xシ・ウィルンブランド病</li> <li>D68.0</li> <li>268</li> <li>3.1</li> <li>免疫がっずり少大損症</li> <li>D80.4</li> <li>1</li> <li>0.0</li> <li>7xシ・ウィルンブランド病</li> <li>D68.0</li> <li>268</li> <li>3.1</li> <li>免疫がっずり少大損症</li> <li>D80.4</li> <li>0.2</li> <li>(以下、再掲)</li> <li>D68.2年</li> <li>D68.2</li> <li>0.2</li> <li>高1g E 症候群</li> <li>D80.8</li> <li>0.2</li> <li>第1 因子欠乏症</li> <li>D68.2</li> <li>17</li> <li>0.2</li> <li>新と異などのよ</li> <li>10 George症候群</li> <li>D82.4</li> <li>19</li> <li>0.2</li> <li>第1 因子欠乏症</li> <li>D68.2</li> <li>17</li> <li>0.2</li> <li>新工因子欠乏症</li> <li>D68.2</li> <li>17</li> <li>0.2</li> <li>第2 日本・大変性</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>0.0</li> <li>原発性補体異常症</li> <li>D83.9</li> <li>1</li> <li>0.2</li> <li>京 性様性の疾不全症</li> <li>D84.8</li> <li>2</li> <li>0.0</li> <li< td=""><td>牌機能几進性俗皿性</td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></li<></ul>   | 牌機能几進性俗皿性                          |             |       | 0.1   |                    |        |          |                 |      |
| 大天性低形成性貧血 D61.0 13 0.2 骨髄線維症 D75.8 9 0.1 原発性鉄芽球性貧血 D64.3 4 0.0 先天性無ッグ*ロブリン血症      大天性赤血球産生異常性貧血 D64.4 14 0.2 低がンマグ*ロブリン血症 D80.0 17 0.2   | to the rib str                     |             |       |       |                    |        |          |                 |      |
| 原発性鉄芽球性貧血 D64.0 2 0.0 た天性無ッグ゚のプリン血症  |                                    |             |       |       |                    |        |          |                 |      |
| 鉄芽球性貧血       D64.3       4       0.0       先天性無ッグ・ロブ・リン血症         先天性赤血球産生異常性貧血       D64.4       14       0.2       低がンマグ・ロブ・リン血症       D80.0       17       0.2         血管内凝固症候群       D65       12       0.1       IgA (単独)欠損症       D80.2       32       0.4         血友病A       D66       1256       14.8       IgG 単独欠損症       D80.3       8       0.1         7xv・ウパルブ・フバ病       D68.0       268       3.1       免疫が・ロブ・リン佐료       D80.4       1       0.0         7xv・ウパルブ・フバ病       D68.0       268       3.1       免疫が・ロブ・リンケ損症       D80.8       52       0.6         第X I 因子欠支症       D68.1       4       0.0       重症複合免疫不全症       D81.9       21       0.2         第I 因子欠支症       D68.2年       0.1       1       DiGeorge症候群       D82.1       18       0.2         第 I 因子欠支症       D68.28       A       15       0.2       高Ig E症候群       D82.4       19       0.2         第 I 因子欠支症       D68.2B       A       0.0       分類不能型免疫不全症       D83.1       8       0.1         第 V 因子欠支症       D68.2E       3       0.0       原発性免疫不全症       D84.8       2       0.0 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>   |                                    |             |       |       |                    |        |          |                 |      |
| 先天性赤血球産生異常性貧血       D64.4       14       0.2       低がンヤがっずりか血症 D80.1       96       1.1         血管内凝固症候样 内65       12       0.1       IgA (単独)欠損症 D80.2       32       0.4         血友病A D66       1256       14.8       IgG 単独欠損症 D80.3       8       0.1         地方がいががががががりが病 D68.0       268       3.1       免疫がすがり次損症 D80.8       52       0.6         第X I 因子欠乏症 D68.1       4       0.0       重症複合免疫不全症 D81.9       21       0.2         第I 因子欠乏症 D68.2等 90       1.1       D16eorge症候群 D82.0       18       0.2         第 I 因子欠乏症 D68.2等 90       1.1       D16eorge症候群 D82.1       18       0.2         第 I 因子欠乏症 D68.2 B 4       0.0       細胞性免疫不全症 D81.9       21       0.2         第 I 因子欠乏症 D68.2 B 4       0.0       類別を企業を発棄と(症) D83.1       8       0.1         第 V 因子欠乏症 D68.2 B 4       0.0       分類不能型免疫不全症 D83.1       8       0.1         第 V 因子欠乏症 D68.2 B 7       0.1       原発性免疫不全症 D84.8       2       0.0         第 X I 因子欠乏症 D68.2 B 7       0.1       原発性免疫不全症 D84.8       2       0.0         第 X I 国子欠乏症 D68.2 B 7       0.1       原発性免疫不全症 D84.8       2       0.0         東 大上のいとで D68.9  |                                    |             |       |       |                    |        | 0        | 333             | 3. 9 |
| □ D64.4 14 0.2 低がンマグロプリン血症 D80.1 96 1.1 血管内凝固症候群 D65 12 0.1 IgA (単独)欠損症 D80.2 32 0.4 血友病A D66 1256 14.8 IgG単独欠損症 D80.3 8 0.1 血友病B D67 246 2.9 IgM欠損症 D80.4 1 0.0 でがいりいがでいいがでいいがでいいがでいいがでいいがでいいがでいいがでいいがでい  |                                    |             | 4     | 0. 0  | 先天性無γグロブリンリ        |        |          |                 |      |
| 血管内凝固症候群 D65 12 0.1 IgA (単独)欠損症 D80.2 32 0.4 血友病A D66 1256 14.8 IgG単独欠損症 D80.3 8 0.1 血友病B D67 246 2.9 IgM欠損症 D80.4 1 0.0 7/1/0/1/0/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/  | 先大性亦皿塚蓙生異                          |             |       |       |                    |        |          |                 |      |
| 加友病A D66 1256 14.8 Ig G 単独欠損症 D80.3 8 0.1 加友病B D67 246 2.9 Ig M 欠損症 D80.4 1 0.0 7ナン・ウィルレブランド病 D68.0 268 3.1 免疫がロブリン欠損症 D80.8 52 0.6 第X 1 因子欠乏症 D68.1 4 0.0 重症複合免疫不全症 D81.9 21 0.2 その他の遺伝性凝固因子欠乏症 ウイスコット・アルドリッチ症候群D82.0 18 0.2 第1 因子欠乏症 D68.2年 90 1.1 DiGeorge症候群 D82.1 18 0.2 第1 因子欠乏症 D68.2 4 15 0.2 高Ig E症候群 D82.4 19 0.2 第1 因子欠乏症 D68.2 2 4 0.0 細胞性免疫不全症 D83.9 +D84.9 21 0.2 第X 団子欠乏症 D68.2 2 4 0.0 分類不能型免疫不全症 D84.8 2 0.0 第X II 因子欠乏症 D68.2 2 4 0.0 分類不能型免疫不全症 D84.8 2 0.0 第X II 因子欠乏症 D68.2 2 3 0.0 原発性補体異常症 D84.1 2 0.0 第X II 因子欠乏症 D68.2 2 3 0.0 原発性補体異常症 D84.8 2 0.0 年齢性プロンピア D68.2 3 0.4 続発性免疫不全症 D84.8 2 0.0 年齢性プロンピア D68.2 3 0.4 続発性免疫不全症 D84.8 2 0.0 極能力で少じ一欠乏症 D68.2 3 0.4 続発性免疫不全症 D84.8 2 0.0 極能性力でンビア D68.2 3 0.4 続発性免疫不全症 D84.8 2 0.0 極能性対の大乏症 D68.2 3 0.4 続発性免疫不全症 D89.0 1 0.0 高グログリン血症性紫斑病 D69.0 0 (D69.0 の) 35名含)  | / fale / shares at /a as/          |             |       |       |                    |        |          |                 | 1. 1 |
| 血友病 B   D67   246   2.9   IgM 欠損症   D80.4   1 0.0  |                                    |             |       |       | <del>-</del>       |        |          | 32              |      |
| 7 オン・ウィルブ・ブント・病 D68.0 268 3.1 免疫グ・ロブ・リン欠損症 D80.8 52 0.6 第X I 因子欠乏症 D68.1 4 0.0 重症複合免疫不全症 D81.9 21 0.2 その他の遺伝性疑固因子欠乏症 ウィスコット・アルト・リッチ症候群D82.0 18 0.2 第 I 因子欠乏症 D68.2 15 0.2 高I g E 症候群 D82.1 18 0.2 第 I 因子欠乏症 D68.2 2 4 0.0 細胞性免疫不全症 D81.9 21 0.2 第 I 因子欠乏症 D68.2 2 4 0.0 細胞性免疫不全症 D83.1 8 0.1 第 V 因子欠乏症 D68.2 2 4 0.0 分類不能型免疫不全症 第 YII 因子欠乏症 D68.2 2 4 0.0 分類不能型免疫不全症 B83.9+D84.9 21 0.2 第 X II 因子欠乏症 D68.2 2 4 0.0 分類不能型免疫不全症 D83.9+D84.9 21 0.2 第 X II 因子欠乏症 D68.2 2 3 0.0 原発性補体異常症 D84.8 2 2 0.0 原発性免疫不全症 D84.8 2 2 0.0 第 X II 因子欠乏症 D68.2 2 3 0.0 原発性免疫不全症 D84.8 2 2 0.0 第 X II 因子欠乏症 D68.2 2 3 0.0 4 続発性免疫不全症 D84.8 2 2 0.0 条態性パッレビ・ブ D68.2 1 7 0.1 原発性免疫不全症 D84.8 2 2 0.0 経過因子異常症 D69.0 (D69.0 のの35名含)  |                                    |             |       |       | • • • • • • • •    |        |          | 8               |      |
| 第X I 因子欠乏症   |                                    |             |       |       | -                  |        |          | 1               | 0.0  |
| での他の遺伝性疑固因子欠乏症   |                                    |             | 268   |       |                    |        |          | 52              | 0.6  |
| 以下、再掲)   |                                    |             |       | 0. 0  |                    |        |          | 21              | 0. 2 |
| 第 I 因子欠乏症  |                                    |             | =     |       | ウィスコット・アルト゛リッチ症候   | 群D82   | 2. 0     | 18              | 0. 2 |
| 第 II 因子欠乏症   |                                    |             | 90    | 1. 1  | DiGeorge症候群        | D82.   | 1        | 18              | 0. 2 |
| 第V因子欠乏症 D68.2C 4 0.0 分類不能型免疫不全症<br>第VI因子欠乏症 D68.2D 17 0.2 D83.9+D84.9 21 0.2<br>第X因子欠乏症 D68.2E 3 0.0 原発性補体異常症 D84.1 2 0.0<br>第XⅡ因子欠乏症 D68.2F 9 0.1 原発性免疫不全症 D84.8A 27 0.3<br>第XⅢ因子欠乏症 D68.2G 30 0.4 続発性免疫不全症 D84.8B 2 0.0<br>本態性パロンビ7 D68.2H 1 0.0 高グログリン血症性紫斑病<br>アンチトロンビ2Ⅲ欠乏症 D68.2I 7 0.1 D89.0A 1 0.0<br>疑固因子異常症 D68.9 14 0.2 本態性高ガンマグロブリン血症<br>血管性紫斑病 D69.0A(D69.0の35名含) D89.0B 2 0.0<br>症性紫斑病 D69.0A(D69.0の35名含) D89.0B 2 0.0<br>血小板機能異常症 D69.1 114 1.3 C蛋白欠乏症 E88.8I 9 0.1<br>血小板機少性紫斑病 D69.3 188 2.2 ホスポゲリセリン酸キナーゼ欠損症<br>先天性無巨核球性血小板減少症 D69.4A 8 0.1 G11.3 9 0.1<br>他の原発性血小板減少症 D69.4 18 0.2 遺伝性出血性末梢血管拡張症<br>脾機能亢進性血小板減少症 D69.4 18 0.2 遺伝性出血性末梢血管拡張症<br>脾機能亢進性血小板減少症 D69.4 18 0.2 遺伝性出血性末梢血管拡張症<br>P69.5 46 0.5 Banti症候群 K76.6 35 0.4<br>周期性血小板減少症 D69.6 12 0.1 血栓性血小板減少性紫斑病  |                                    | D68. 2A     | 15    | 0. 2  | 高IgE症候群            | D82.   | 4        | 19              | 0. 2 |
| 第3世 日子欠乏症  | 第Ⅱ因子欠乏症                            | D68. 2B     | 4     | 0.0   | 細胞性免疫不全(症)         | D83.   | 1        | 8               | 0. 1 |
| 第X因子欠乏症 D68. 2E 3 0.0 原発性補体異常症 D84. 1 2 0.0 第X II 因子欠乏症 D68. 2F 9 0.1 原発性免疫不全症 D84. 8A 27 0.3 第X III 因子欠乏症 D68. 2G 30 0.4 続発性免疫不全症 D84. 8B 2 0.0 本態性プトロンド 7 D68. 2H 1 0.0 高グ ログ・リン血症性紫斑病 アンチトロンド ン田欠乏症 D68. 2I 7 0.1 D89. 0A 1 0.0 経固因子異常症 D68. 9 14 0.2 本態性高ガンマグ・ロブ・リン血症 血管性紫斑病 D69. 0A (D69. 0の35名含) D89. 0B 2 0.0 2259 26. 5 ペモジ・デ・ローンス E83. 1 36 0.4 血小板機能異常症 D69. 1 114 1.3 C蛋白欠乏症 E88. 8I 9 0.1 血小板減少性紫斑病 D69. 3 188 2.2 ポスポケ・リセリン酸キナーセ・欠損症 E88. 8Q 1 0.0 かん減少性紫斑病 D69. 4A 8 0.1 ataxia telangiectasia 免疫学的血小板減少症 D69. 4B 350 4.1 G11. 3 9 0.1 他の原発性血小板減少症 D69. 4 18 0.2 遺伝性出血性末梢血管拡張症 I78. 0 5 0.1 助性血小板減少症 D69. 5 46 0.5 Banti症候群 K76. 6 35 0.4 面栓性血小板減少性紫斑病 D69. 6 12 0.1 血栓性血小板減少性紫斑病  | 第V因子欠乏症                            | D68. 2C     | 4     | 0.0   | 分類不能型免疫不全          | 症      |          |                 |      |
| 第X II 因子欠乏症 D68. 2F 9 0.1 原発性免疫不全症 D84. 8A 27 0.3 第X II 因子欠乏症 D68. 2G 30 0.4 続発性免疫不全症 D84. 8B 2 0.0 本態性アトロンビア D68. 2H 1 0.0 高グログリン血症性紫斑病   | 第Ⅶ因子欠乏症                            | D68. 2D     | 17    | 0. 2  |                    | D83. 9 | )+D84. 9 | 9 21            | 0. 2 |
| 第XⅢ因子欠乏症 D68.2G 30 0.4 続発性免疫不全症 D84.8B 2 0.0 本態性アトロンビア D68.2H 1 0.0 高グログリン血症性紫斑病 アンチトロンビンⅢ欠乏症 D68.2I 7 0.1 D89.0A 1 0.0 疑固因子異常症 D68.9 14 0.2 本態性高ガンマグロブリン血症 D89.0B 2 0.0 2259 26.5 ヘモジ・デローシス E83.1 36 0.4 血小板機能異常症 D69.1 114 1.3 C蛋白欠乏症 E88.8I 9 0.1 血小板減少性紫斑病 D69.3 188 2.2 ホススホグリセリン酸キナーゼ欠損症 E88.8Q 1 0.0 D69.4A 8 0.1 ataxia telangiectasia 免疫学的血小板減少症 D69.4 18 0.2 遺伝性出血性末梢血管拡張症 P機能亢進性血小板減少症 I78.0 5 0.1 D69.5 46 0.5 Banti症候群 K76.6 35 0.4 面栓性血小板減少性紫斑病 D69.6 12 0.1 血栓性血小板減少性紫斑病  | 第X因子欠乏症                            | D68. 2E     | 3     | 0.0   | 原発性補体異常症           | D84.   | 1        | 2               | 0.0  |
| 本態性アトロンビア D68. 2H 1 0.0 高グログリン血症性紫斑病 アンチトロンビンⅢ欠乏症 D68. 2I 7 0.1 D89. 0A 1 0.0 凝固因子異常症 D68. 9 14 0.2 本態性高ガンマグロブリン血症 血管性紫斑病 D69. 0A(D69. 0の35名含) D89. 0B 2 0.0   | 第ⅩⅡ因子欠乏症                           | D68. 2F     | 9     | 0. 1  | 原発性免疫不全症           | D84.   | 8A       | 27              | 0.3  |
| アンチトロンピン四欠乏症 D68.2I 7 0.1  | 第ⅩⅢ因子欠乏症                           | D68. 2G     | 30    | 0. 4  | 続発性免疫不全症           | D84.   | 8B       | 2               | 0.0  |
| 凝固因子異常症 D68.9 14 0.2 本態性高がンマグ・ロブ・リン血症 血管性紫斑病 D69.0A(D69.0の35名含) D89.0B 2 0.0 2259 26.5 ヘモジ・デ・ローシス E83.1 36 0.4 血小板機能異常症 D69.1 114 1.3 C蛋白欠乏症 E88.8I 9 0.1 血小板減少性紫斑病 D69.3 188 2.2 ホスホケ・リセリン酸キナーゼ・欠損症 先天性無巨核球性血小板減少症 E88.8Q 1 0.0 D69.4A 8 0.1 ataxia telangiectasia 免疫学的血小板減少症 D69.4B 350 4.1 G11.3 9 0.1 他の原発性血小板減少症 D69.4 18 0.2 遺伝性出血性末梢血管拡張症 脾機能亢進性血小板減少症 I78.0 5 0.1 D69.5 46 0.5 Banti症候群 K76.6 35 0.4 周期性血小板減少症 D69.6 12 0.1 血栓性血小板減少性紫斑病   | 本態性アトロンビア                          | D68. 2H     | 1     | 0.0   | 高グログリン血症性紫斑        | 狂病     |          |                 |      |
| 血管性紫斑病 D69. 0A(D69. 0の35名含) D89. 0B 2 0. 0 2259 26. 5 ヘモジデーシス E83. 1 36 0. 4 血小板機能異常症 D69. 1 114 1. 3 C蛋白欠乏症 E88. 8I 9 0. 1 血小板減少性紫斑病 D69. 3 188 2. 2 ホスポケッリセリン酸キナーセ・欠損症 先天性無巨核球性血小板減少症 E88. 8Q 1 0. 0 D69. 4A 8 0. 1 ataxia telangiectasia 免疫学的血小板減少症 D69. 4 18 0. 2 遺伝性出血性末梢血管拡張症 P機能亢進性血小板減少症 D69. 4 18 0. 2 遺伝性出血性末梢血管拡張症 P機能亢進性血小板減少症 D69. 5 46 0. 5 Banti症候群 K76. 6 35 0. 4 周期性血小板減少症 D69. 6 12 0. 1 血栓性血小板減少性紫斑病  | アンチトロンビンⅢ欠乏症                       | Ĕ D68.2I    | 7     | 0.1   |                    | D89.   | OA       | 1               | 0.0  |
| 2259   26.5   へモジデローシス   E83.1   36   0.4   血小板機能異常症   D69.1   114   1.3   C蛋白欠乏症   E88.8  | 凝固因子異常症                            | D68.9       | 14    | 0. 2  | 本態性高ガンマグロブリ        | ン血症    |          |                 |      |
| 血小板機能異常症 D69.1 114 1.3 C蛋白欠乏症 E88.8I 9 0.1   | 血管性紫斑病                             | D69. OA (D6 | 59.0の | 35名含) |                    | D89.   | 0B       | 2               | 0.0  |
| 血小板減少性紫斑病 D69.3 188 2.2 ホスホグリセリン酸キナーゼ欠損症  先天性無巨核球性血小板減少症   |                                    |             | 2259  | 26. 5 | ヘモシ゛テ゛ローシス         | E83.   | 1        | 36              | 0. 4 |
| 血小板減少性紫斑病 D69.3 188 2.2 ホスホグリセリン酸キナーゼ欠損症  先天性無巨核球性血小板減少症 E88.8Q 1 0.0  D69.4A 8 0.1 ataxia telangiectasia 免疫学的血小板減少症 D69.4B 350 4.1 G11.3 9 0.1 他の原発性血小板減少症 D69.4 18 0.2 遺伝性出血性末梢血管拡張症  P機能亢進性血小板減少症 I78.0 5 0.1  D69.5 46 0.5 Banti症候群 K76.6 35 0.4  周期性血小板減少症 D69.6 12 0.1 血栓性血小板減少性紫斑病  | 血小板機能異常症                           | D69.1       | 114   | 1. 3  | C蛋白欠乏症             | E88.   | 81       | 9               | 0. 1 |
| D69. 4A80.1ataxia telangiectasia免疫学的血小板減少症 D69. 4B3504.1G11.390.1他の原発性血小板減少症 D69. 4180.2遺伝性出血性末梢血管拡張症牌機能亢進性血小板減少症 D69. 5460.5Banti症候群 K76. 6350.4周期性血小板減少症 D69. 6120.1血栓性血小板減少性紫斑病   | 血小板減少性紫斑病                          | D69.3       | 188   | 2. 2  | ホスホグリセリン酸キナーゼ欠     | 損症     |          |                 |      |
| D69. 4A80.1ataxia telangiectasia免疫学的血小板減少症 D69. 4B3504.1G11.390.1他の原発性血小板減少症 D69. 4180.2遺伝性出血性末梢血管拡張症牌機能亢進性血小板減少症 D69. 5460.5Banti症候群 K76. 6350.4周期性血小板減少症 D69. 6120.1血栓性血小板減少性紫斑病   | 先天性無巨核球性血                          | 小板減少症       | •     |       |                    | E88.   | 8Q       | 1               | 0. 0 |
| 免疫学的血小板減少症 D69.4B3504.1G11.390.1他の原発性血小板減少症 D69.4180.2遺伝性出血性末梢血管拡張症脾機能亢進性血小板減少症 D69.5460.5Banti症候群 K76.6350.4周期性血小板減少症 D69.6120.1血栓性血小板減少性紫斑病  |                                    | D69.4A      | 8     | 0. 1  | ataxia telangiecta |        |          |                 |      |
| 他の原発性血小板減少症 D69.4180.2遺伝性出血性末梢血管拡張症牌機能亢進性血小板減少症 D69.5460.5Banti症候群 K76.6350.4周期性血小板減少症 D69.6120.1血栓性血小板減少性紫斑病  | 免疫学的血小板减少                          | 定 D69.4B    | 350   | 4. 1  | •                  |        | 3        | 9               | 0. 1 |
| 牌機能亢進性血小板減少症I78.050.1D69.5460.5Banti症候群K76.6350.4周期性血小板減少症D69.6120.1血栓性血小板減少性紫斑病   | 他の原発性血小板減                          | 少症 D69.4    | 1 18  | 0. 2  | 遺伝性出血性末梢血          |        |          |                 |      |
| D69.5     46     0.5     Banti症候群     K76.6     35     0.4       周期性血小板減少症     D69.6     12     0.1     血栓性血小板減少性紫斑病   | 牌機能亢進性血小板                          | 减少症         |       |       |                    |        |          | 5               | 0. 1 |
| 周期性血小板減少症 D69.6 12 0.1 血栓性血小板減少性紫斑病  |                                    |             | 46    | 0. 5  | Banti症候群           |        |          |                 |      |
| the The select of the first of the selection of the selec | 周期性血小板減少症                          | D69.6       |       |       |                    |        |          | =               |      |
|  | 自己免疫性血管性紫斑                         | 斑病 D69.8    | 3 1   | 0. 0  |                    |        |          | 29              | 0. 3 |

| 新生児溶血性貧血      | P55. 0  | 1 | 0.0  |
|---------------|---------|---|------|
| Bloom症候群      | Q82.8   | 1 | 0. 0 |
| 胸腺形成不全        | Q89. 2A | 1 | 0.0  |
|               |         |   |      |
| 紫斑病腎炎         | D69. OB | 1 | 0.0  |
| (本来は慢性腎療      | (患に分類)  |   |      |
| 卵巣の良性腫瘍       | D27. 9  | 1 | 0. 0 |
| (本来は内分泌療      | (患に分類)  |   |      |
| 不明(コンピュータ入力ミン | 双等)     | 0 | 0. 0 |

# 10)神経・筋疾患

平成14年度の「神経・筋疾患」に関する集計結果を表10に示す。登録人数は14年度1043人であり、10年度と11年度の1,062人、12年度の1,047人、13年度978人とほぼ同様であった<sup>51</sup>。

# 表10、神経·筋疾患(H14年度症例)

Neuromuscular Diseases (合計1,043人)、(新規診断319人、 継続691人、転入8人、無記入25人) (男子594人、女子437人、無記入12人) (国の小慢事業872人、県単独事業171人)

北海道21人、青森県13人、岩手県10人、 宫城県5人、秋田県5人、山形県4人、 福島県4人、茨城県21人、栃木県5人、 群馬県23人、埼玉県43人、千葉県20人、 東京都65人、神奈川県2人、新潟県78人、 富山県5人、石川県8人、福井県2人、 山梨県4人、長野県4人、岐阜県0人、 静岡県5人、愛知県28人、三重県9人、 滋賀県75人、京都府5人、大阪府45人、 兵庫県17人、奈良県11人、和歌山県0人、 鳥取県4人、島根県2人、岡山県3人、 広島県65人、山口県10人、徳島県8人、 香川県3人、愛媛県、高知県1人、 福岡県7人、佐賀県4人、長崎県5人、 熊本県5人、大分県2人、宮崎県10人、 鹿児島県3人、沖縄県19人、 札幌市19人、仙台市、千葉市9人、 横浜市6人、川崎市2人、名古屋市10人、 京都市、大阪市5人、神戸市3人、 広島市72人、北九州市2人、福岡市1人、 秋田市3人、郡山市2人、宇都宮市24人、 新潟市38人、富山市0人、金沢市2人、 岐阜市0人、静岡市0人、浜松市0人、

豊田市0人、堺市59人、姫路市0人、 和歌山市0人、岡山市6人、福山市40人、 高知市0人、長崎市0人、熊本市2人、 大分市4人、宮崎市0人、鹿児島市6人、 いわき市0人、長野市、豊橋市1人、 高松市4人、旭川市7人、横須賀市2人、 松山市6人、奈良市11人、倉敷市9人 計85都道府県市の集計結果

| 疾患名            | ICD10  | 人数(人)  | %     |
|----------------|--------|--------|-------|
| 亜急性硬化性全脳炎      | A81.1  | 21     | 2. 0  |
| (特定疾患対象)       |        |        |       |
| レット症候群         | F84. 2 | 10     | 1. 0  |
| 点頭てんかん         | G40. 4 | 703    | 67. 4 |
| 無痛無汗症          | G60.8  | 7      | 0.7   |
| 先天性筋疾患         | G71.9等 | 146    | 14.0  |
| (以下、再掲)        |        |        |       |
| 筋細管性ミオパチー      | G71.2  | A 5    | 0. 5  |
| 先天性筋線維型不均      | 匀等症G71 | . 2B 4 | 0. 4  |
| ネマリンミオハ゜チー     | G71.2  | C 13   | 1. 2  |
| セントラルコア病       | G71.2  | E 2    | 0. 2  |
| 福山型先天性筋ジス      | トロフィー  |        |       |
|                | G71.2  | F 20   | 1. 9  |
| 先天性遺伝性筋ジス      | トロフィー  |        |       |
|                | G71.2  | G 91   | 8. 7  |
| トトコンドリア脳筋症     | G71.3  | 76     | 7. 3  |
| 結節性硬化症         | Q85. 1 | 80     | 7. 7  |
| 不明(コンピュータ入力ミス等 | 筝)     | 0      | 0. 0  |

### 11)成長ホルモン治療用意見書

平成14年度の「成長ホルモン治療」に関する 集計結果を表11-1、表11-2に示す。

成長ホルモン治療用意見書は、他の10疾患群の意見書とその仕様が異なり、記入項目が多く、コンピュータ上自動計算する箇所が多い等、複雑に作成されている。そのためか、電子データによる報告を「初回」11カ所、「継続」18カ所の実施主体が提出していなかった。ただし、未提出の実施主体は、昨年度よりは減少した。

平成14年1月より成長ホルモン治療が小慢事業の対象となったPrader-Willi症候群は、初回申請37例、継続申請35例であった。13年度の各々2例、4例に比べて著増していた<sup>51</sup>。

表11-1、成長ホルモン治療用意見書 (H14年度初回申請症例)

(合計2,080人)、 (男子1,207人、女子842人、無記入31人)

北海道44人、青森県17人、岩手県36人、 宮城県44人、秋田県11人、山形県30人、 福島県25人、茨城県46人、栃木県、 群馬県、埼玉県75人、千葉県71人、 東京都152人、神奈川県、新潟県38人、 富山県20人、石川県6人、福井県2人、 山梨県23人、長野県24人、岐阜県36人、 静岡県、愛知県91人、三重県72人、 滋賀県2人、京都府7人、大阪府185人、 兵庫県115人、奈良県32人、和歌山県18人、 鳥取県15人、島根県0人、岡山県23人、 <del>広島県</del>、山口県62人、徳島県3人、 香川県16人、受媛県、高知県6人、 福岡県36人、佐賀県14人、長崎県22人、 熊本県23人、大分県14人、宮崎県19人、 鹿児島県12人、<del>沖縄県、</del> 札幌市45人、仙台市8人、千葉市11人、 横浜市43人、川崎市18人、名古屋市58人、 京都市、大阪市49人、神戸市40人、 広島市49人、北九州市16人、福岡市8人、 秋田市9人、郡山市6人、宇都宮市12人、 新潟市6人、富山市8人、金沢市0人、 岐阜市6人、静岡市、浜松市16人、 豊田市1人、堺市12人、姫路市1人、 和歌山市16人、岡山市、福山市20人、 高知市4人、長崎市11人、熊本市16人、 大分市9人、宮崎市6人、鹿児島市2人、 いわき市10人、長野市、豊橋市16人、 高松市9人、旭川市0人、横須賀市8人、 松山市9人、奈良市14人、倉敷市21人 計78都道府県市の集計結果

疾患名ICD10人数(人)%成長ホルモン分泌不全性低身長症E23.0E181687.3ターナー症候群Q961195.7下垂体機能低下症E23.0A30.1

プラダーウィリー症候群 Q87. 1A 37 1.8 軟骨無形成症 Q77. 4 54 2.6 0.6 慢性腎不全 N18.9 13 その他の慢性腎疾患 12 0.6 その他 26 1.3

不明(コンピュータ入力ミス等)

# 表11-2、成長ホルモン治療用意見書 (H14年度継続申請症例)

(合計7,749人)、

(男子4,811人、女子2,868人、無記入70人)

北海道、青森県105人、岩手県144人、 宮城県182人、秋田県67人、山形県116人、 福島県106人、茨城県217人、栃木県、 群馬県135人、埼玉県316人、千葉県265人、 東京都528人、神奈川県、新潟県168人、 富山県1人、石川県40人、福井県72人、 <del>山梨県</del>、長野県116人、岐阜県184人、 静岡県119人、受知県、三重県267人、 滋賀県187人、京都府51人、大阪府717人、 兵庫県29人、奈良県132人、和歌山県70人、 鳥取県34人、島根県33人、岡山県112人、 <del>広島県、山口県240人、徳島県38人、</del> 香川県101人、愛媛県、高知県51人、 福岡県、佐賀県51人、長崎県108人、 熊本県118人、大分県67人、宮崎県、 鹿児島県56人、沖縄県、 <del>札幌市、仙台市、</del>千葉市100人、 横浜市222人、川崎市92人、名古屋市、 京都市、大阪市239人、神戸市171人、 広島市143人、北九州市78人、福岡市50人、 秋田市47人、郡山市42人、宇都宮市0人、 新潟市30人、富山市69人、金沢市33人、 岐阜市54人、静岡市、浜松市166人、 豊田市2人、堺市91人、姫路市3人、 和歌山市44人、岡山市、福山市131人、 高知市21人、長崎市47人、熊本市70人、 大分市25人、宮崎市47人、鹿児島市41人、 いわき市27人、長野市、豊橋市80人、 高松市、旭川市20人、横須賀市19人、 松山市54人、奈良市43人、倉敷市105人 計71都道府県市の集計結果

| 疾患名         | ICD10   | 人数(人) | ) %   |
|-------------|---------|-------|-------|
| 成長ホルモン分泌で   | 下全性低身   | '長症   |       |
|             | E23. 0E | 6759  | 87. 2 |
| ターナー症候群     | Q96     | 549   | 7. 1  |
| 下垂体機能低下症    | E23. 0A | 43    | 0.6   |
| プラダーウィリー症候群 | Q87. 1A | 35    | 0.5   |
| 軟骨無形成症      | Q77. 4  | 273   | 3. 5  |
| 慢性腎不全       | N18. 9  | 18    | 0. 2  |

0

0.0

その他の慢性腎疾患14 0.2その他56 0.7不明(コンピュータ入力ミス等)2 0.0

# 資料

- 1)加藤忠明、柳澤正義他:小児慢性特定疾 患登録管理の試行(Ⅱ). 平成9年度厚生省心 身障害研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の 評価に関する研究」報告書:pp8~24、1998
- 2)加藤忠明:厚生労働科学研究「小児慢性 特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に関 する研究」平成13年度~15年度総合研究報告書、 2004
- 3) 斉藤進、加藤忠明他:小児慢性特定疾患 登録管理用ソフトの改訂. 平成13年度厚生科学 研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・ 管理・評価に関する研究」報告書:pp233~234、 2002
- 4) 斉藤進、加藤忠明他:小児慢性特定疾患登録管理用ソフトの改訂版. 平成12年度厚生科学研究「母子保健事業の登録・評価に関する研究」報告書:pp171~172、2001
- 5) 平成15年度厚生労働科学研究「小児慢性 特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価に関 する研究」報告書(主任研究者:加藤忠明)、 2004